
User's Manual

OpreX Auto Report and File Conversion Software

自動帳票・ファイル変換ソフトウェア

RF10

ユーザーズマニュアル

会員登録のご案内

ご購入いただいた製品情報の確認や関連資料のダウンロード、メールニュースなどの様々なサービスをご利用いただけます。

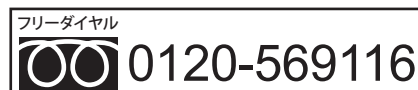
会員サイト (Customer Portal)
<https://myportal.yokogawa.com/>

計測相談のご案内

当社では、お客様に正しい計測をしていただけるよう、レコーダ・データロガー製品に関する、仕様、機種のご選定、応用上の問題などのご相談を下記CSセンターで承っています。

価格、納期などの販売についての内容は、最寄りの営業・代理店へお問い合わせください。

●お問い合わせ：横河電機株式会社 カスタマーサポートセンター



daq_cs@csv.yokogawa.co.jp

フリーダイヤル受付時間 9:00～17:00 (12:00～13:00を除く)
月～金曜日(祝・祭日、弊社指定休日を除く)

Blank

はじめに

このたびは自動帳票・ファイル変換ソフトウェア RF10（以下「RF10」と呼びます）をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

このマニュアルは、RF10 の使い方について説明したものです。ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

マニュアルのダウンロード

最新版は以下の URL からダウンロードして閲覧できます。

<https://www.yokogawa.co.jp/daqsoft/>

ご注意

- ・ 本書の内容は、性能・機能の向上などにより将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一で不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

QR コード

YOKOGAWA 製品は、機器保全・機器管理業務にお役立ていただくために、製品に QR コードを順次添付して出荷します。QR コードによって、購入製品の機器仕様の確認や、取扱説明書の参照が可能です。詳細については次の URL をご参照ください。

<https://www.yokogawa.co.jp/qr-code>

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

商標

- ・ SMARTDAC+ および OpreX は、当社の登録商標または商標です。
- ・ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe および Acrobat は、Adobe Inc.(アドビ社) の登録商標または商標です。
- ・ 本書に記載している製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本書では各社の登録商標または商標に、® および ™ マークを表示していません。

履歴

2026 年 8 月 初版発行

ソフトウェア使用許諾契約書

ご使用前に必ずお読みください。

ご使用前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます）をお読みください。
このたびは横河電機株式会社（以下「横河」といいます）のソフトウェアをお求めいただきまして誠にありがとうございます。横河ソフトウェア をインストールまたは使用することにより、お客様は本契約の各条項に同意したものとみなされます。本契約に同意いただけない場合は、横河ソフトウェアのインストールおよび使用は行わず、直ちに横河ソフトウェアの販売元にご連絡ください。本ソフトウェアを未使用のまま返品いただくことにより、本ソフトウェアについてお支払い済みの金額について払戻しを受けられる場合があります。

第1条（適用範囲）

本契約は、横河の以下の製品およびこれに付帯して提供される関連資料（以下併せて「横河ソフトウェア製品」といいます）に適用します。横河が別に定める場合を除き、横河が提供する横河ソフトウェア製品の改訂版および機能追加版（第4条第3項に定めるバージョンアップ後の横河ソフトウェア製品を含む）についても本契約が適用されます。

横河ソフトウェア製品：自動帳票・ファイル変換ソフトウェア (Model RF10) とします。

第2条（使用権の許諾）

- 横河は、お客様に対し、横河ソフトウェア製品について、別途合意した使用料を対価として、以下のライセンス数と同じ台数の、別途合意した指定コンピュータ上における、お客様の自己使用のために必要な範囲で、譲渡不能かつ再許諾不可の非独占的な使用権を許諾します。
ライセンス数：別途合意したご購入数とします。
- 横河が書面により別途合意または規定した場合を除き、次の行為は禁止されます。
 - 横河ソフトウェア製品を複製すること（ただし、バックアップ用に1部複製することは可能としますが、この場合複製物の管理に厳重な注意を払うものとします。）
 - 横河ソフトウェア製品を第三者に貸与、頒布または譲渡、および第三者が閲覧または複製可能な状態での公衆送信、送信可能化、その他形式のいかんを問わず当該成果物を第三者に提供または提示すること
 - 指定コンピュータ以外のコンピュータ上で横河ソフトウェア製品を使用すること
 - ダンプ、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等により横河ソフトウェア製品をソースプログラムその他人間が読み取り可能な形式へ変換もしくは複製すること、修正もしくは他の言語への翻訳等により横河ソフトウェア製品を提供された形式以外に改変すること、またはこれらを試みること
 - 横河ソフトウェア製品に使用または付加された技術的保護手段（コピープロテクト）を回避もしくは除去すること、回避や除去を試みること
 - 横河ソフトウェア製品に表示されている著作権、商標、ロゴその他の表示を削除すること
- 横河ソフトウェア製品およびそれらに含まれる一切の技術、アルゴリズム、ノウハウおよびプロセスは、横河または横河に対し再使用許諾権または譲渡権を付与している第三者の固有財産および営業秘密であり、横河ソフトウェア製品の権利は横河または当該第三者に帰属し、お客様に権利の移転や譲渡を行うものではありません。
- 前項記載の固有財産および営業秘密ならびにキーコードは、横河ソフトウェア製品を使用するために必要とされるお客様の役員、従業員またはそれに準じる者以外の第三者に開示、漏洩しないものとし、お客様は当該従業員等に対しては秘密保持の義務を負わせるものとします。
- 本契約終了または解除時は、横河ソフトウェア製品およびその複製物を横河に返却するとともに、コンピュータまたは記憶媒体に記録されている複製物を完全に消去するものとします。横河ソフトウェア製品およびその複製物が記録されている記憶媒体を廃棄する場合は、必ずこれに記憶されている内容を完全に消去するものとします。
- 横河ソフトウェア製品には、横河が第三者（横河の関係会社を含みます）から再使用許諾権または譲渡権を付与されているソフトウェアプログラム（以下「第三者プログラム」という）を含む場合があります。かかる第三者プログラムの供給者（以下「供給者」といいます）が本契約と異なる使用許諾条件を定めている場合には、別途提示される当該条件が本契約に優先して適用されます。第三者プログラムによっては、お客様が供給者から直接使用許諾を受ける形態のものもあります。
- 横河ソフトウェア製品には、オープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）が含まれる場合があります。OSSについては、別途提示される条件が本契約に優先して適用されます。

第3条（特定用途に関する制限）

- 横河ソフトウェア製品は、横河、お客様間に別途書面で合意した場合を除き、航空機の運航、船舶の航行もしくはこれらを地上でサポートする機器、鉄道施設、原子力施設もしくは放射線関連機器、または医療機器もしくは医療施設に関連した使用、その他高度な安全基準が求められる状況下での使用を目的として設計、製造または使用許諾されたものではありません。
- お客様が前項の目的で横河ソフトウェア製品を使用する場合には、横河および供給者は当該使用により発生するいかなるクレームおよび損害に対しても責任を負わないものとし、お客様は、お客様の責任においてこれを解決するものとします。

第4条（保証）

- 横河ソフトウェア製品は、当該製品完成時または出荷時の現状のままでお客様に提供されるものとし、記録媒体の破損または損傷を除き、横河および供給者は瑕疵担保責任その他の保証責任を一切負わないものとします。記録媒体に破損、損傷などの瑕疵が発見された場合は、出荷後12ヶ月に限り、横河はこれを無償で交換します（ただし、お客様の費用で横河の指定するサービス拠点に当該ソフトウェア製品の記憶媒体を送付していただく場合に限ります）。横河はいかなる場合であっても、横河ソフトウェア製品に瑕疵および不具合のないこと、的確性、正確性、信頼性もしくは最新性などの品質上または性能上の明示もしくは黙示の保証をするものではありません。また、横河ソフトウェア製品が他のソフトウェアとの間で不整合、相互干渉などの影響のないことを保証するものでもありません。
- 横河は、自己の判断により必要と認めた場合、横河ソフトウェア製品に関するバージョンアップ（以下、「バージョンアップ」といいます）を実施し、これを有償または無償にて提供することがあります。ただし、横河は、バージョンアップまたはバージョンアップ後の製品をお客様に提供する義務を負うものではありません。
- 横河ソフトウェア製品に対して、有償保守サービスが提供される場合があります。保守サービスの範囲および条件は、横河が別途定めるものとします。標準品以外の横河ソフトウェア製品については、保守サービスを提供できない場合があります。なお、横河以外の者により改変または修正された横河ソフトウェア製品については、横河は一切保守サービスを提供しないものとします。

第5条（特許権、著作権等の侵害に関する損害賠償責任）

- お客様は、横河ソフトウェア製品につき、横河の責に帰すべき事由により、第三者から日本国または第7条したがって横河の同意を得た他国の特許権、商標権、著作権その他の知的財産権の侵害に基づき使用の差し止め、損害賠償請求等（以下総称して「請求等」といいます）が行われた場合は、書面にて直ちに請求等の内容を横河に通知するものとします。
- 前項の通知がなされる場合、お客様から横河に実質的な防御、交渉権限を与えていただき、かつ必要な情報および援助をいただくことを条件に、横河は横河の責任の範囲内において自己の費用負担で当該請求等の防御および交渉を行い、前項記載の第三者に対して最終的に認められた横河の責任の範囲内で責任を負うものとします。
- 横河は第1項における請求またはその恐れがあると判断した場合は、横河の選択により、横河の費用で下記のいずれかの処置を取ることができるものとします。
 - 正当な権利を有する者からかかる横河ソフトウェア製品の使用を継続する権利を取得する。
 - 第三者の権利の侵害を回避できるようなソフトウェア製品と交換する。
 - 第三者の権利を侵害しないようにかかる横河ソフトウェア製品を改造する。
 - 前各号の処置がとれない場合、本契約を解除し、かかる製品の簿価のうち既に横河が受領した金額を限度として損害を賠償する。
- 前各項にかかわらず、第1項の請求にかかる侵害が、横河以外の者による横河ソフトウェア製品の改変に起因する場合、横河以外の第三者が納入した製品と横河ソフトウェア製品との組み合わせによる場合、お客様または発注者の指示に起因する場合、横河の助言に従わない場合その他横河の責に帰すべき事由によらない場合は、横河は前各項の責任を負わないものとします。
- 本条の定めが知的財産権侵害に関する横河および供給者の責任のすべてとします。本条にかかわらず、第三者プログラムまたはOSSに起因する請求等については別途提示される条件が優先します。

第6条（責任の制限）

- 本契約に従い使用されている横河ソフトウェア製品によって、横河の責に帰すべき事由によりお客様が損害を被った場合は、横河は、本契約の規定に従って対応するものとし、横河が、横河および供給者は、いかなる場合においても、派生損害、結果損害、その他の間接損害（営業上の利益の喪失、業務の中断、営業情報の喪失等による損害その他）については一切責任を負わないものとし、かつ横河の責任（前条における責任を含む）は、かかる横河ソフトウェア製品について横河が既にお支払いを受けた金額の残存簿価を限度とします。なお、横河が納入した製品につきお客様が横河の書面による事前の承諾なく改造、改変、他のソフトウェアとの結合を行い、またはその他、カタログ、一般仕様書、基本仕様書、機能仕様書もしくはマニュアルとの相違を生ぜしめた場合は、横河は一部または全ての責任を免れることができるものとします。
- 本契約の遂行または違反その他本契約に関してお客様が横河に対して有するすべての請求権は、請求の原因となる事由の発生から3ヶ月以内に横河に対して書面で通知しない限り、当該3ヶ月の経過をもって消滅するものとします。

第7条（輸出規制）

お客様は、事前に横河の同意を得た場合を除き、横河ソフトウェア製品の全部または一部を、直接、間接を問わず輸出または他国に提供しないものとします。横河が同意した場合、お客様は、日本国、アメリカ合衆国その他関連国の輸出関連法規を遵守し、自らの責任と費用において輸出許可の取得その他必要な手続きを行うものとします。

第8条（監査、使用の差し止め）

- 横河は、お客様による本契約の履行を確認するため、合理的な範囲で、お客様の関連施設に立ち入り監査することができるものとします。

2. 横河ソフトウェア製品の使用許諾後といえども、使用環境の変化または許諾時には見出せなかった不適切な環境条件が見られる場合、その他横河ソフトウェア製品を使用するに著しく不適切であると横河が判断した場合には、横河はお客様に対して当該使用を差止めることができるものとします。

第 9 条 (譲渡)

お客様は、横河ソフトウェア製品の譲渡を行う場合は、譲受人に本契約が適用されることを明示しこれを順守させるとともに、横河ソフトウェア製品をすべて譲受人に譲渡し、お客様自身が保有する複製物を完全に消去するものとします。

第 10 条 (解除)

横河は、お客様が本契約に違反した場合には、何ら催告を要することなく通知をもって本契約を解除できるものとします。この場合お客様は直ちに横河ソフトウェア製品の使用を中止し、第 2 条第 5 項に従い横河ソフトウェア製品およびその複製物を返却または消去するものとし、支払い済みの使用料は返金されないものとします。本契約終了後といえども第 2 条第 4 項および第 5 項、第 3 条、第 5 条、第 6 条および第 11 条は効力を有するものとします。

第 11 条 (管轄裁判所)

横河ソフトウェア製品の使用または本契約に関して生じた紛争については、両者誠意を持って協議解決するものとします。ただし、一方当事者が他方当事者に協議解決をしたい旨の通知後 90 日以内に両当事者間で協議が整わない場合は東京地方裁判所 (本庁) を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

オープンソースソフトウェアの使用について

Expat

本製品では、Expat のソースコードを使用しています。Expat のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文（英文）にて記載します。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libcurl

本製品では、libcurl のソースコードを使用しています。libcurl のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文（英文）にて記載します。

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2026, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>, and many contributors, see the THANKS file.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

OpenSSL

本製品では、OpenSSLのソースコードを使用しています。OpenSSLのライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文(英文)にて記載します。

Copyright (c) 1998-2026 The OpenSSL Project Authors

Copyright (c) 1995-1998 Eric A. Young, Tim J. Hudson

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Apache License Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity. "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on

(or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof. "Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution." "Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License.

Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License.

Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution.

You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along

with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions.

Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks.

This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty.

Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability.

In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability.

While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

SQLCipher

本製品では、SQLCipher のソースコードを使用しています。SQLCipher のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

Copyright (c) 2025, ZETETIC LLC
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the ZETETIC LLC nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ZETETIC LLC "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL ZETETIC LLC BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

zlib

本製品では、zlib のソースコードを使用しています。zlib のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

Copyright notice:
(C) 1995-2026 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

libpng

本製品では、libpng のソースコードを使用しています。libpng のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

Copyright (c) 1995-2026 The PNG Reference Library Authors.
Copyright (c) 2018-2026 Cosmin Truta.
Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2018 Glenn Randers-Pehrson.
Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger.
Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

The software is supplied "as is", without warranty of any kind, express or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title, and non-infringement. In no event shall the Copyright owners, or anyone distributing the software, be liable for any damages or other liability, whether in contract, tort or otherwise, arising from, out of, or in connection with the software, or the use or other dealings in the software, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated, but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

pyPdf

本製品では、pyPdf のソースコードを使用しています。pyPdf のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

Copyright (c) 2006-2008, Mathieu Fenniak
Some contributions copyright (c) 2007, Ashish Kulkarni <kulkarni.ashish@gmail.com>
Some contributions copyright (c) 2014, Steve Witham <switham_github@mac-guyver.com>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

React

本製品では、React のソースコードを使用しています。React のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

MIT License

Copyright (c) Meta Platforms, Inc. and affiliates.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

lodash

本製品では、lodash のソースコードを使用しています。lodash のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

Copyright OpenJS Foundation and other contributors <<https://openjsf.org/>>

Based on Underscore.js, copyright Jeremy Ashkenas, DocumentCloud and Investigative Reporters & Editors <<http://underscorejs.org/>>

This software consists of voluntary contributions made by many individuals. For exact contribution history, see the revision history available at <https://github.com/lodash/lodash>

The following license applies to all parts of this software except as documented below:

====

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

====

Copyright and related rights for sample code are waived via CC0. Sample code is defined as all source code displayed within the prose of the documentation.

CC0: <http://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/>

====

Files located in the node_modules and vendor directories are externally maintained libraries used by this software which have their own licenses; we recommend you read them, as their terms may differ from the terms above.

cpp-httpplib

本製品では、cpp-httpplib のソースコードを使用しています。cpp-httpplib のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文（英文）にて記載します。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2017 yhirose

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

redux-toolkit

本製品では、redux-toolkit のソースコードを使用しています。redux-toolkit のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

MIT License

Copyright (c) 2018 Mark Erikson

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

react-redux

本製品では、react-redux のソースコードを使用しています。react-redux のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2015-present Dan Abramov

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS

FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

minizip

本製品では、minizip のソースコードを使用しています。minizip のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文（英文）にて記載します。

Copyright notice:

(C) 1995-2026 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler

jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.

Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation

and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

Altered versions—including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP—must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases—including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.

Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

i18next-browser-languageDetector

本製品では、i18next-browser-languageDetector のソースコードを使用しています。

i18next-browser-languageDetector のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2015-present i18next

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

react-use-websocket

本製品では、react-use-websocket のソースコードを使用しています。react-use-websocket のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文 (英文) にて記載します。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2021 Robert Taussig

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

このマニュアルの利用方法

利用方法

本マニュアルは、以下に示す第 1 章～第 8 章で構成されています。

章	タイトルと内容
1	ご使用になる前に RF10 の概要と、RF10 を使用するときに必要な PC 環境について説明しています。
2	自動帳票・ファイル変換出力の準備をする RF10 の初回起動からライセンス登録までの準備操作について説明しています。
3	ユーザー管理をする 認証によるユーザー管理について説明しています。
4	自動帳票・ファイル変換出力を設定する 出力タスク、FTP クライアントの設定について説明しています。
5	自動帳票・ファイル変換出力を運転する 出力タスク、FTP クライアントの運転操作について説明しています。
6	監査証跡を確認する 監査証跡の確認方法について説明しています。
7	データベースを移行する データベースの移行方法について説明しています。
8	メッセージ エラーメッセージの一覧とその対処方法について説明しています。

このマニュアルにおける説明の範囲

本マニュアルでは、オペレーティングシステムの基本的な操作については説明していません。オペレーティングシステムの基本的な操作は、Windows のユーザズガイドなどをお読みください。

このマニュアルで使用している記号

単位	
K	「1024」の意味です。使用例：768K バイト（ファイル容量）
k	「1000」の意味です。
注記	
	本機器で使用しているシンボルマークで、人体および本機器に危険があることを示すとともに、その内容についてユーザズマニュアルを参照する必要があることを示します。ユーザズマニュアルでは、その参照ページに目印として、「警告」「注意」の用語と使い方に使用しています。
警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険があるときに、その危険を避けるための注意事項が記載されています。
注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害だけが発生する危険があるときに、それを避けるための注意事項が記載されています。
Note	本機器を取り扱ううえで重要な情報が記載されています。
参照項目の表記	
▶	関連する操作や説明の参照先をこのマークのあとに記述しています。 使用例：▶ 4.1 節
操作説明ページで使用しているシンボル	
[]	画面に表示される文字列を表します。 使用例：[電圧]

操 作

数字で示す順序で各操作をしてください。ここでは、初めて操作をすることを前提に、手順を説明しています。操作内容によっては、すべての操作を必要としない場合があります。

解 説

解説では操作に関する限定事項などを説明しています。

内 容

内容は設定項目を表しています。

画像について

本書に掲載されている画像が、操作説明に影響のない範囲で実際のソフトウェアの画像と異なる場合があります。

このマニュアルが対象としている製品

製品	バージョン
自動帳票・ファイル変換ソフトウェア RF10	R1.01.xx

改版の履歴

版数	追加／変更
1	新規発行

Blank

目次

はじめに	i
ソフトウェア使用許諾契約書	ii
オープンソースソフトウェアの使用について	iv
このマニュアルの利用方法	xvi

第1章 ご使用になる前に

1.1 自動帳票・ファイル変換ソフトウェア RF10 の概要	1-1
1.2 必要な PC システム環境	1-3
1.2.1 ハードウェア	1-3
1.2.2 オペレーティングシステム	1-3
1.2.3 表示言語	1-4
1.2.4 その他の動作条件	1-4
1.2.5 セキュリティ対策	1-5
1.2.6 入出力フォルダとして指定できないフォルダ	1-5
1.3 画面とメニュー	1-6
1.3.1 画面とメニューの構成	1-6
1.4 連続運転に関する注意事項	1-9

第2章 自動帳票・ファイル変換出力の準備をする

2.1 インストールから自動帳票・ファイル変換出力の実行までの流れ	2-1
2.2 RF10 を起動する / 終了する	2-3
2.2.1 RF10 を起動する	2-3
2.2.2 RF10 を終了する	2-3
2.3 認証を設定する	2-4
2.4 ログインする	2-6
2.5 コメント入力を有効にする	2-8
2.5.1 コメント入力を設定する	2-8
2.6 ライセンスを登録する	2-9
2.6.1 ライセンスを登録する	2-9

第3章 ユーザー管理をする

3.1 ユーザー管理を設定する	3-1
3.2 パスワードを変更する	3-3

第4章 自動帳票・ファイル変換出力を設定する

4.1 出力タスクを設定する	4-1
4.1.1 共通設定	4-1
4.1.2 出力タスクの設定	4-2
4.1.3 タスク設定のコピーと貼り付け	4-19
4.2 FTP クライアントを設定する	4-20
4.2.1 FTP クライアント設定のコピーと貼り付け	4-20

4.2.2	FTP クライアント設定	4-20
4.2.3	接続テスト	4-23
4.3	設定をエクスポート / インポートする	4-24
4.4	設定情報を表示する	4-25
4.4.1	現在の設定情報を表示する	4-25
4.4.2	差分の設定情報を表示する	4-26
 第 5 章 自動帳票・ファイル変換出力を運転する		
5.1	出力タスクを実行する	5-1
5.1.1	自動運転で実行する	5-1
5.1.2	手動運転で実行する	5-4
5.2	FTP クライアントを実行する	5-6
5.2.1	自動運転で実行する	5-6
5.2.2	PC 起動時のみで実行する	5-8
5.2.3	手動運転で実行する	5-8
 第 6 章 監査証跡を確認する		
6.1	監査証跡を表示する	6-1
6.1.1	監査証跡画面を表示する	6-1
6.2	監査証跡を確認する	6-2
6.2.1	監査証跡の検索条件を設定する	6-2
6.2.2	監査証跡を確認する	6-3
6.2.3	監査証跡の検索結果をエクスポートする	6-5
6.3	コメントを入力をする	6-6
 第 7 章 データベースを移行する		
7.1	データベースを移行する	7-1
 第 8 章 メッセージ		
8.1	エラーとメッセージ一覧	8-1

1.1 自動帳票・ファイル変換ソフトウェア RF10 の概要

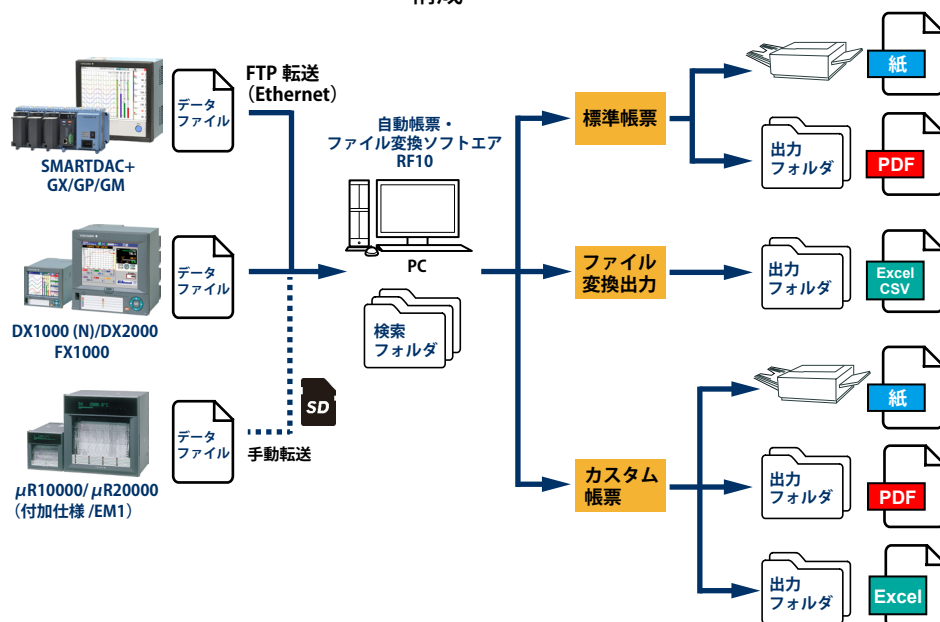
RF10 は、SMARTDAC+ シリーズ (GX/GP/GM)、DX、FX および μ R で記録されたデータファイルを入力データとして、帳票出力およびファイル変換出力を自動または手動で実行する PC ソフトウェアです。

RF10 は検索フォルダを監視し、対象ファイルが配置されると、あらかじめ設定された条件に従って帳票出力やファイル変換出力を実行します。対象ファイルは、RF10 の FTP クライアント機能による記録計からの自動取得、記録計の FTP クライアント機能による FTP サーバへの自動転送、またはユーザによる手動配置などの方法で取り込むことができます。

出力機能には、標準帳票（紙または PDF 形式）の生成、Excel 形式や CSV 形式への変換出力、およびテンプレートを利用したカスタム帳票の生成があります。

また、RF10 は操作履歴を監査証跡として記録する機能を備えており、システムの運用履歴を追跡するとともに、監査対応を支援します。

構成



1.1 自動帳票・ファイル変換ソフトウェア RF10 の概要

基本仕様

項目	概要
実行プログラム	Windows サービスとして動作
実行内容	標準帳票出力、変換出力、カスタム帳票出力
タスク数	最大 200
FTP クライアント数	最大 200
検索フォルダ数	最大 500
出力フォルダ数	最大 500
入力方法	FTP サーバー、FTP クライアント、手動
運転モード	
出力タスク	自動、手動
FTP クライアント	自動、PC 起動時のみ、手動
運転ログ表示数	最大 5000
実行モード	
標準帳票、変換出力	即時、周期、毎週、毎月
カスタム帳票	毎日、毎週、毎月、周期
出力形式	
標準帳票	印刷、PDF
変換出力	Excel、CSV
カスタム帳票	印刷、PDF、Excel
出力内容	
標準帳票	波形、デジタル、サーキュラ、アラームリスト、マークリスト、 操作履歴一覧
変換出力	データ、アラームリスト、マークリスト、操作履歴一覧
カスタム帳票	テンプレートファイルに従う
認証設定	OFF、パスワード、ユーザーアカウント ユーザー数：最大 20

対象データファイルと実行内容

機種	ファイル種類	ファイル拡張子	標準帳票	変換出力	カスタム帳票
GX20	イベントデータ	*.GEV	○	○	○
GP20	表示データ	*.GDS	○	○	○*
GX10	イベントデータ (AS 対応)	*.GSE	○	○	○
GP10	表示データ (AS 対応)	*.GSD	○	○	○
GM10	レポートデータ	*.GRE	○	—	—
	マニュアルサンプル	*.GMN	○	—	—
DX1000	イベントデータ	*.DAE	○	○	○
DX1000N	表示データ	*.DAD	○	○	○*
DX2000	イベントデータ (AS 対応)	*.DSE	○	○	○
FX1000	表示データ (AS 対応)	*.DSD	○	○	○
	レポートデータ	*.DAR	○	—	—
	マニュアルサンプル	*.DAM	○	—	—
μR10000	イベントデータ	*.RXE	○	○	○
μR20000					

* 表示データファイルのレポート瞬時値は空白になります。

1.2 必要な PC システム環境

1.2.1 ハードウェア

項目	内容
CPU	Core i5 以上（第 12 世代以降）または同等以上の性能を有する CPU
内部メモリ	16 GB 以上
ストレージ	空き容量が 64 GB 以上、SSD 推奨、NTFS 推奨
通信ポート	OS に対応した Ethernet ポート

1.2.2 オペレーティングシステム

OS*	エディション
Windows 11	Pro Enterprise
Windows Server 2019	Standard
Windows Server 2022	
Windows Server 2025	

* Microsoft Corporation がサポートを終了した OS については、横河電機でもサポートを終了します。

Note

- デスクトップ環境でご使用ください。
- 記録計本体の記録時と同じタイムゾーン（DST 含む）を PC に設定してください。
- OS の表示言語として、日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、フランス語、ドイツ語、ロシア語、韓国語およびイタリア語をサポートしています。なお、データを収集した記録計の表示言語、RF10 の表示言語および OS の表示言語は一致させてください。

1.2.3 表示言語

言語	動作環境
英語	英語 OS
日本語	日本語 OS
中国語（簡体字）	中国語（簡体字）OS
中国語（繁体字）	中国語（繁体字）OS
フランス語	フランス語 OS
ドイツ語	ドイツ語 OS
ロシア語	ロシア語 OS
韓国語	韓国語 OS
イタリア語	イタリア語 OS

1.2.4 その他の動作条件

Excel 形式へのデータ変換

データを、下記の Excel のバージョンで扱える形式に変換して出力します。
Microsoft Office Excel 2021、2024、Office 365

Microsoft ランタイム、パッケージ

ご使用になる場合、Microsoft Corporation の以下のランタイム、パッケージが必要になります。

- ・ Microsoft Visual C++ v14 Redistributable

（これらはインストーラを実行すると自動インストールされますので事前に準備する必要はありません。）

PDF の閲覧

PDF をご覧になるには、アドビシステムズ社の Adobe Acrobat Reader の最新バージョンのご利用を推奨します。

記録計データの閲覧

記録計データをご覧になるには、ユニバーサルビューアの最新バージョンを別途インストールください。

Web ブラウザ

設定表示機能をお使いになる場合は Google Chrome もしくは Microsoft Edge が必要になります。

PDF 仮想プリンタ

標準帳票で PDF 出力する場合は、Microsoft Print to PDF が必要になります。

テンプレートファイルの作成（カスタム帳票）

PDF 出力する場合は、レポートテンプレートビルダの最新バージョンを別途インストールください。

Excel 出力する場合は、キーワードアシストツールをご利用いただけます。キーワードアシストツールは、レポートテンプレートビルダのインストール時にあわせてインストールされます。

1.2.5 セキュリティ対策

セキュリティ脅威に対処するため、セキュリティ対策を実施していただくことを推奨しています。

- PC のネットワーク接続を制限する。
隔離されたネットワーク内で運用することを推奨します。
- 外部メディアを適切に管理する。
外部メディア経由でのマルウェアの持ち込み、外部メディアに対する不正なファイル操作、紛失による情報漏洩を防止してください。
- 強固なパスワードを設定し、適切に管理する。
パスワードは 8 文字以上とし、英大文字、英小文字、数値、および記号のうち 3 種類以上を含むようにしてください。定期的にパスワードを変更してください。
- アンチウイルスソフトウェアを利用する。

1.2.6 入出力フォルダとして指定できないフォルダ

サービスとして動作する RF10 の制約により、以下のフォルダは入出力フォルダとして指定できません。

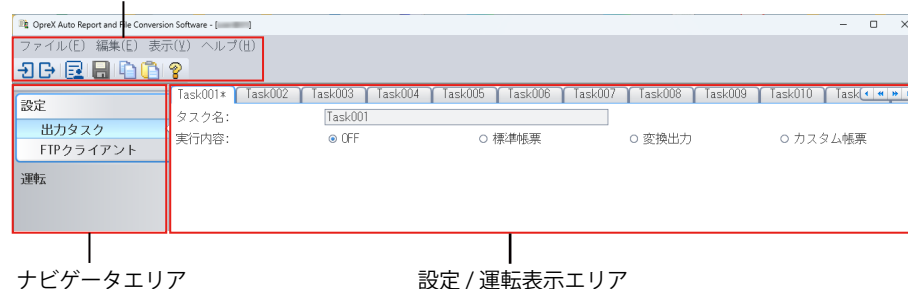
- C:\Windows\ 配下
- C:\Program Files\ 配下
- C:\Program Files (x86)\ 配下
- ユーザプロファイル配下 (C:\Users\ 配下)
- ドライブ直下 (例: C:\)

1.3 画面とメニュー

1.3.1 画面とメニューの構成

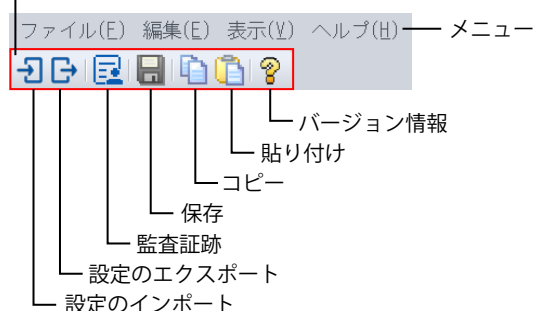
RF10 の画面は、メニューとツールバー、ナビゲータエリア、および、設定 / 運転表示エリアから構成されています。

メニューとツールバー



メニューとツールバー

ツールバー



メニュー	説明
ファイル (F)	
設定のインポート (I)	設定をインポートする
設定のエクスポート (E)	設定をエクスポートする
データベースの移行 (M)	データベースを移行する
パスワード変更 (G)	パスワードを変更する
認証設定 (C)	認証方式を設定する
ユーザ管理 (U)	ユーザーの作成・削除を行う
終了 (X)	RF10 を終了する
編集 (E)	
コピー (C) Ctrl+C	選択した内容をコピーする
貼り付け (P) Ctrl+V	コピーした内容を貼り付ける
保存 (S) Ctrl+S	変更した内容を保存する
表示 (V)	
監査証跡 (A)	監査証跡を表示する
コメント入力 (C)	コメント入力ダイアログの表示 / 非表示を切り替える
設定表示 (S)	設定内容を表示する (HTML 形式)
ツールバー (T)	ツールバーの表示 / 非表示を切り替える
言語 (L)	英語 (E) 日本語 (J) 中文 (簡体) (C) 中文 (繁体) (T)
	言語表示を切り替える (メニュータイトルは原語表記)

メニュー		説明
	フランス語 (F) ドイツ語 (G) ロシア語 (R) 韓国語 (K) イタリア語 (I)	
ヘルプ (H)		
	取扱説明書 (M) F1	取扱説明書を表示する
	バージョン情報 (A)	プログラムの情報、バージョン、著作権を表示する
	ライセンス入力 (L)	ライセンス入力ダイアログを表示する
	更新ウェブサイトへ (U)	RF10 の更新ウェブサイトを表示する

メニューとツールバーの機能

設定のインポート / エクスポート

- ▶ 4-24 ページの「4.3 設定をエクスポート / インポートする」を参照してください。

データベース移行

- ▶ 7-1 ページの「7.1 データベースを移行する」を参照してください。

パスワード変更

- ▶ 3-3 ページの「3.2 パスワードを変更する」を参照してください。

認証設定

- ▶ 2-4 ページの「2.3 認証を設定する」を参照してください。

ユーザ管理

- ▶ 3-1 ページの「3.1 ユーザー管理を設定する」を参照してください。

監査証跡

- ▶ 6-1 ページの「第 6 章 監査証跡を確認する」を参照してください。

コメント入力

- ▶ 6-6 ページの「6.3 コメントを入力をする」を参照してください。

設定表示

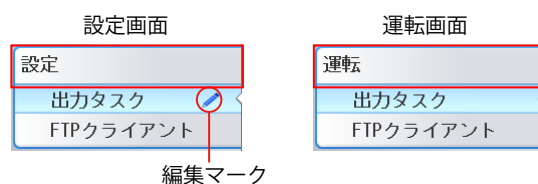
- ▶ 4-25 ページの「4.4 設定情報を表示する」を参照してください。

コピー／貼り付け

- ▶ 4-19 ページの「4.1.3 タスク設定のコピーと貼り付け」、4-20 ページの「4.2.1 FTP クライアント設定のコピーと貼り付け」を参照してください。

ナビゲータエリア

ナビゲータエリアの各項目を選択することで、設定 / 運転画面表示エリアの内容を切り替えて表示します。

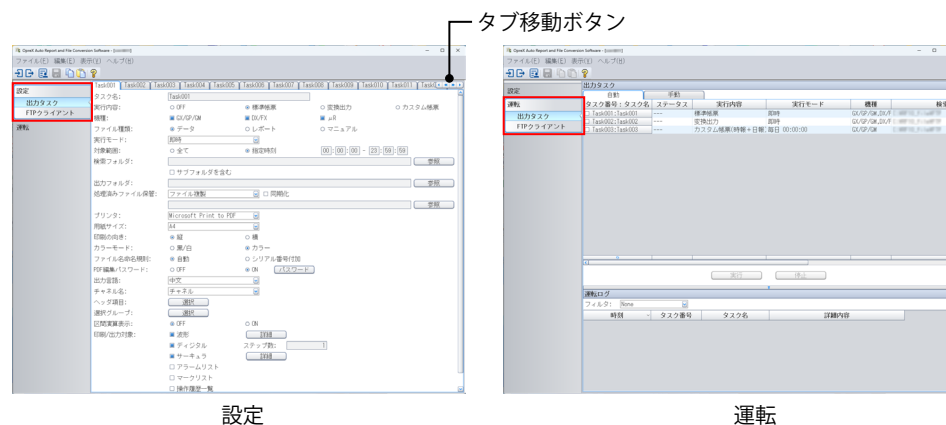


編集マーク

設定に変更した内容があるとき、ナビゲータエリアの各項目のアイコンの右側に編集マークが表示されます。変更を保存すると、編集マークは消えます。

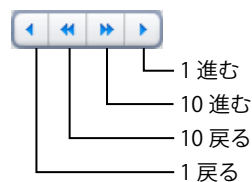
設定 / 運転表示エリア

ナビゲータエリアの操作により、設定の出力タスク、FTP クライアント、および、運転の出力タスク、FTP クライアントの画面を切り換えて表示します。



タブ移動ボタン

タブページを 1 単位または 10 単位で移動します。



1.4 連続運転に関する注意事項

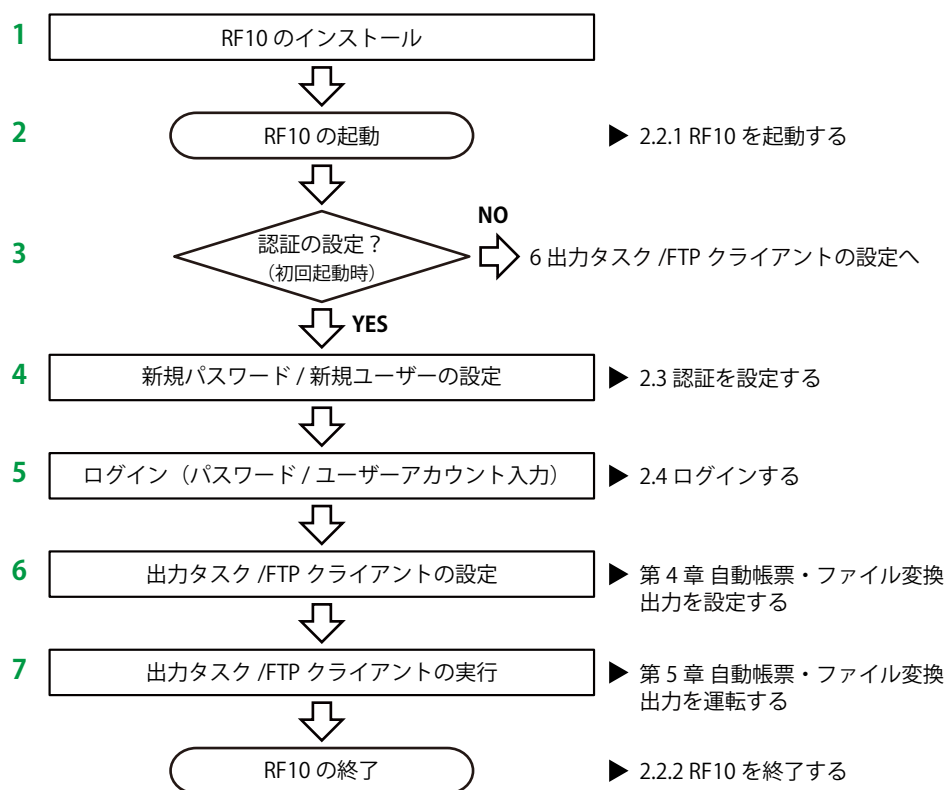
連続運転する場合には、PC や Windows の設定について、以下を確認してください。

- Windows の高速スタートアップ機能を無効にしてください。
- Windows がスリープ状態にならないように設定してください。
- Windows のハイブリッドスリープ機能を無効にしてください。
- Windows の自動更新により、PC 再起動が機能動作中に発生することがありますのでご注意ください。
- Windows のドライブ デフラグが機能動作中に行われないように、自動デフラグ、最適化をオフにしてください。
- Windows の動作不調によって過剰な OS メモリ消費が行われることがあり、その影響により RF10 がメモリ不足で強制終了する場合があります。PC や RF10 の動作が不安定な場合は Windows OS や各種ドライバの更新を行ってください。
- ノート型 PC での連続運転を検討される場合は、メーカーの PC 仕様と制限事項をご確認ください。メーカーによってはノート型 PC での 24 時間以上の連続運転を保証していない場合があります。

Blank

2.1 インストールから自動帳票・ファイル変換出力の実行までの流れ

RF10 のインストールから、帳票、ファイル変換出力の実行までの基本的な作業の流れを下図に示します。



1 RF10 のインストール

RF10 をインストールします。
手順は、RF10 のダウンロードページを参照してください。

2 RF10 の起動

スタートメニューから RF10（自動帳票・ファイル変換ソフトウェア）を起動します。
▶ 2-3 ページの「2.2 RF10 を起動する / 終了する」

3 認証の設定（初回起動時）

認証方式を設定します。認証を使用しない場合は「6 出力タスク /FTP クライアントの設定」に進みます。
▶ 2-4 ページの「2.3 認証を設定する」

次ページにつづく

4 新規パスワード / 新規ユーザーの設定

認証方式が[パスワード]または[ユーザーアカウント]の場合、新規パスワードまたはユーザーアカウントを設定します。

▶ 2-4 ページの「2.3 認証を設定する」

5 ログイン (パスワード / ユーザーアカウント入力)

パスワードまたはユーザーアカウントを入力してログインします。

▶ 2-6 ページの「2.4 ログインする」

6 出力タスク / FTP クライアント設定

出力タスク / FTP クライアントを設定します。

▶ 4-1 ページの「4.1 出力タスクを設定する」

4-20 ページの「4.2 FTP クライアントを設定する」

7 出力タスク / FTP クライアント実行

出力タスク / FTP クライアントを実行します。

▶ 5-1 ページの「5.1 出力タスクを実行する」

5-6 ページの「5.2 FTP クライアントを実行する」

2.2 RF10 を起動する / 終了する

2.2.1 RF10 を起動する

操 作

- 1 [スタートメニュー] - [すべてのプログラム] - [OpreX Auto Report and File Conversion Software] - [自動帳票・ファイル変換ソフトウェア] を選択します。

初回起動

RF10 の初回起動時は [認証設定] ダイアログが表示されます。

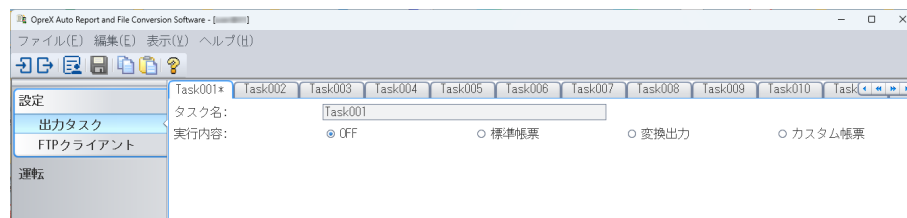
- ▶ 2-4 ページの「2.3 認証を設定する」を参照して認証設定をしてください。

初回以降の起動

認証が設定されている場合は [ログイン] ダイアログが表示されます。

- ▶ 2-6 ページの「2.4 ログインする」を参照してログインしてください。

認証が設定されていない場合は RF10 が起動します。



操作完了

2.2.2 RF10 を終了する

操 作

- 1 メニューの [ファイル] - [終了] を選択するか、[×] ボタンをクリックします。
設定を変更したときは、「設定の変更を保存しますか？」メッセージが表示されます。
設定を保存して RF10 を終了するときは、[はい] ボタンをクリックします。
設定を保存しないで RF10 を終了するときは、[いいえ] ボタンをクリックします。

操作完了

2.3 認証を設定する

認証方式は初回起動時または認証設定変更時に選択できます。
認証を使用しない場合は、認証を行わずに RF10 を起動します。

認証方式による操作範囲

認証方式	認証設定、データベース移行	ユーザー管理	コメント入力	設定	運転
OFF	○	×	×	○	○
パスワード	○	×	×	○	○
ユーザアカウント	管理者	○	○	○	○
	ユーザ	×	○	○	○

内 容

認証設定

認証方式を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
認証設定	OFF/パスワード/ユーザアカウント	OFF

選択肢	説明
OFF	認証を行わずに RF10 を起動します。ユーザー管理は使用できません。
パスワード	RF10 で管理するパスワードによる認証方式です。
ユーザアカウント	RF10 で管理するユーザー ID とパスワードによる認証方式です。 初回ログイン時には初期パスワードの変更が必要です。

設定範囲

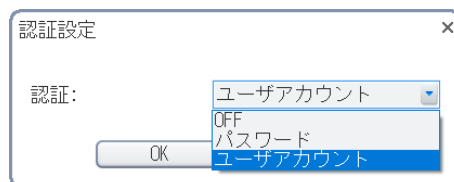
認証方式	設定範囲または選択肢
パスワード	半角英数字、記号 6 文字以上、30 文字以下
ユーザアカウント	ユーザ名 半角英数字、記号 1 文字以上、20 文字以下
	ユーザ ID 半角英数字、記号、20 文字以下（空欄可）
	パスワード 半角英数字、記号 8 文字以上、30 文字以下 英大文字、小文字、数字、記号のうち、3 つの種類を含む

操 作

初回起動時

RF10 の初回起動時に、[認証設定] ダイアログが表示されます。

- 1 認証方式を選択して [OK] をクリックします。



認証が [OFF] のとき

認証を行わずに RF10 が起動します。

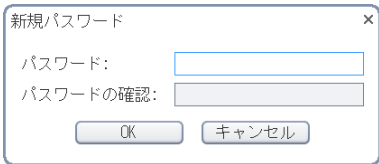
認証が [パスワード] または [ユーザアカウント] のとき

[新規パスワード] または [新規ユーザ] ダイアログが表示されます。

- 2 新規パスワードまたは新規ユーザー（ユーザ番号 01）を設定して [OK] をクリックします。

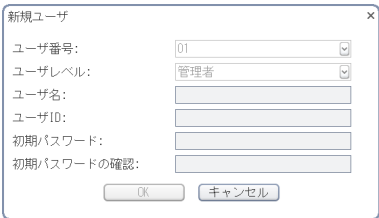
[ログイン] ダイアログが表示されます。

新規パスワード



新規パスワードダイアログ。パスワードとパスワードの確認の入力欄があり、OKとキャンセルボタンがある。

新規ユーザ



新規ユーザダイアログ。ユーザ番号（01）、ユーザレベル（管理者）、ユーザ名、ユーザID、初期パスワード、初期パスワードの確認の入力欄があり、OKとキャンセルボタンがある。

- 3 設定したパスワードまたはユーザーアカウント（ユーザ番号 01）を入力して [OK] をクリックします。

RF10 が起動します。

ログイン



ログインダイアログ（パスワード）。パスワードの入力欄があり、OKとキャンセルボタンがある。

ログイン



ログインダイアログ（ユーザアカウント）。ユーザ名、ユーザID、パスワードの入力欄があり、OKとキャンセルボタンがある。

操作完了

変更時

認証方式を変更します。

- 1 メニューの [ファイル] - [認証設定] を選択します。
[認証設定] ダイアログが表示されます。
- 2 認証方式を選択して [OK] をクリックします。
認証を初めて [パスワード] または [ユーザアカウント] に設定する場合、[新規パスワード] または [新規ユーザ] ダイアログが表示されます。

[新規パスワード] または [新規ユーザ] ダイアログが表示された場合は、初回起動時の操作 2 からと同様の操作です。

初回起動時の操作 2 からを参照して操作してください。

認証設定を [パスワード] または [ユーザアカウント] に設定したことがある場合は、前回設定時の認証設定が保持されているため、[ログイン] ダイアログが表示されます。以降の操作は、初回起動時の操作 3 からを参照して操作してください。

操作完了

Note

パスワードの初期化により新しいパスワードを設定した場合、対象のユーザーがログインするときは、初回のログインと同様に初期パスワードの変更が必要になります。

2.4 ログインする

認証設定がパスワードまたはユーザーアカウントの場合、RF10 を起動すると [ログイン] ダイアログが表示されます。パスワードまたはユーザーアカウントを入力してログインします。

認証設定がユーザーアカウントの場合、ユーザー番号 1 以外のユーザーが初回ログインするときは、初期パスワード* を変更します。

* 管理者がユーザー管理で設定した初期パスワード

操 作

認証設定がパスワードのとき

- 1 初回起動時に設定したパスワードを入力して [OK] をクリックします。
RF10 が起動します。

[操作完了](#)

認証設定がユーザーアカウントのとき

初回のログイン

- 1 ユーザーアカウントを入力して [OK] をクリックします。
[パスワード変更] ダイアログが表示されます。
- 2 新しいパスワードを設定して [OK] をクリックします。
[ログイン] ダイアログが表示されます。

- 3 ユーザーアカウントを入力して [OK] をクリックします。
RF10 が起動します。

[操作完了](#)

初回以降のログイン

- 1 ユーザーアカウントを入力して [OK] をクリックします。
RF10 が起動します。

[操作完了](#)

Note

- 誤ったユーザー ID およびパスワードを 5 回連続して入力した場合、対象のユーザーはロックされ、無効ユーザーになります。
無効ユーザーになった場合、管理者によるパスワードの初期化および新しい初期パスワードの設定が必要です。
- 管理者全員がロックされた場合は、パスワードロック解除ができなくなります。そのため、複数の管理者を登録しておくことを推奨します。

2.5 コメント入力を有効にする

認証設定がユーザアカウントに設定されている場合、動作や設定変更等の操作を行ったときにコメントを入力することができます。

入力したコメントは監査証跡に記録されます。

ユーザーはコメント入力の設定はできません。

2.5.1 コメント入力を設定する

操 作

- 1 メニューの[表示]－[コメント入力]を選択します。
[コメント入力]にチェックマークが付き、コメント入力ができるようになります。
コメント入力をしない場合は、同様の操作でチェックマークを外します。

[操作完了](#)

- ▶ コメント入力については、6-6 ページの「6.3 コメントを入力をする」を参照してください。

2.6 ライセンスを登録する

ライセンス番号を入力せずにインストールした場合、60 日間の試用期間が開始されます。試用期間終了後は、本ソフトウェアを使用できません。製品版として使用するには、ライセンス番号を入力してください。ライセンス番号の入力を行う際は、本ソフトウェアを右クリックし、[管理者として実行] を選択して起動してください。

2.6.1 ライセンスを登録する

試用期間の残日数を確認する

メニューの [ヘルプ] - [バージョン情報] で表示されるダイアログから確認することができます。

試用期間内にライセンスを入力する

操 作

- 1 メニューの [ヘルプ] - [ライセンス入力] をクリックします。
[ライセンス入力] ダイアログが表示されます。
- 2 ライセンス番号を入力し、[登録] をクリックします。
正式化のメッセージが表示されます。



- 3 [OK] をクリックします。
ダイアログ上にライセンス番号が表示されます。
- 4 [閉じる] をクリックします。
- 5 PC を再起動します。

操作完了

試用期間経過後にライセンスを入力する

試用期間を経過すると、ログイン操作ができなくなります。ソフトウェアを起動すると、ライセンス入力を求められます。ライセンスをご購入済みの場合は、番号を入力してください。

Note

試用版からライト版 (LE) に移行する場合は設定が引き継がれません。設定を引き継ぐ場合は設定のエクスポート / インポート機能をご利用ください。

60 日の試用期間を過ぎるとエクスポート / インポート機能が使えなくなります。ライト版に移行予定の場合は、試用期間内に設定をエクスポートください。

Blank

3.1 ユーザー管理を設定する

認証設定がユーザーアカウントの場合、ユーザー管理を設定します。
管理ユーザーは、他のユーザーの登録、削除、および、パスワードの初期化ができます。

内 容

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ユーザ番号	1 ～ 20	—
ユーザレベル	管理者 / ユーザ	—
ユーザ名	半角英数字、記号 1 文字以上、20 文字以下	—
ユーザ ID	半角英数字、記号、20 文字以下（空欄可）	—
パスワード	半角英数字、記号 8 文字以上、30 文字以下 英大文字、小文字、数字、記号のうち、3 つの種類を含む	—

操 作

- 1 メニューの [ファイル] - [ユーザ管理] を選択します。
[ユーザ管理] ダイアログが表示されます。

ユーザーの登録

- 2 ユーザー番号を選択して [新規ユーザ] をクリックします。
[新規ユーザ] ダイアログが表示されます。

- 3 [ユーザレベル]、[ユーザ名]、[ユーザ ID]、[初期パスワード]、[初期パスワードの確認] を設定して [OK] をクリックします。

新規ユーザーが登録されます。

- 4 [閉じる] をクリックします。

操作完了

ユーザーの削除

- 2 削除するユーザー番号を選択します。
- 3 [ユーザ削除] ボタンをクリックします。
[ユーザを削除しますか?] のダイアログが表示されます。
- 4 [OK] をクリックします。
選択したユーザーが削除されます。
- 5 [閉じる] をクリックします。

操作完了

パスワードの初期化

- 2 パスワードを初期化するユーザー番号を選択します。
- 3 [パスワード] の [初期化] ボタンをクリックします。
[パスワード初期化] ダイアログが表示されます。
- 4 新しいパスワードを設定して [OK] をクリックします。
パスワードが変更されます。
- 5 [閉じる] をクリックします。

操作完了

3.2 パスワードを変更する

操 作

- 1 メニューの [ファイル] - [パスワード変更] を選択します。
[パスワード変更] ダイアログが表示されます。
- 2 パスワード、新しいパスワード、新しいパスワードの確認を入力し、[OK] をクリックします。
[ログイン] ダイアログが表示されます。

- 3 ユーザ名 *、ユーザ ID*、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
* 認証がユーザアカウントのとき
パスワードが変更されます。

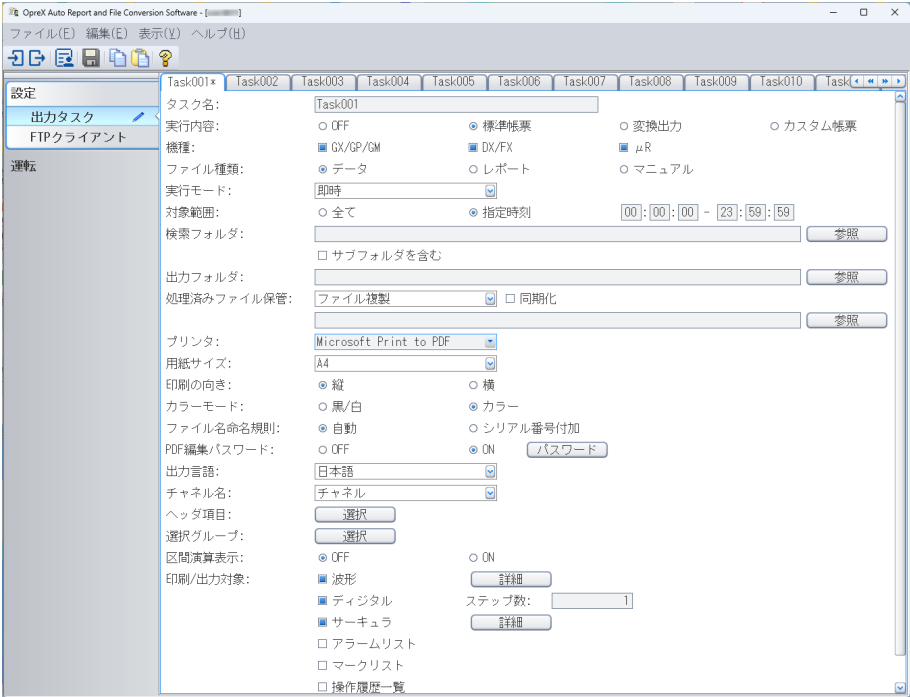
操作完了

Blank

4.1 出力タスクを設定する

帳票出力またはファイル変換出力を行うための設定を行います。

画面



4.1.1 共通設定

出力タスクの共通項目を設定します。

内 容

タスク名

タスクの名称を設定します。ここで設定した名称がタブの名称になります。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
タスク名	最大 30 文字 * (アスタリスク) は使用できません。	Task001 ~ Task200

実行内容

実行する内容を設定します。

タスク名が表示されているタブにマウスカーソルをあてるとタスク番号を確認することができます。タスク番号：タスク名というフォーマットで表示されます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
実行内容	OFF/ 標準帳票 / 変換出力 / カスタム帳票	OFF

選択肢	説明
OFF	何も実行しません。
標準帳票	標準の帳票を出力します。
変換出力	設定した出力形式 (Excel/CSV) に変換して出力します。
カスタム帳票	テンプレートファイル (拡張子: .tpl、.xlsm、.xlsx) に従って、帳票を出力します。

4.1 出力タスクを設定する

機種

帳票、ファイル変換出力するデータファイルの機種を選択します。複数選択することができます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
機種	GX/GP/GM、DX/FX、 μ R	GX/GP/GM、DX/FX、 μ R

- ▶ 機種とファイル拡張子については、1-1 ページの「1.1 自動帳票・ファイル変換ソフトウェア RF10 の概要」の「対象データファイルと出力内容」を参照してください。

4.1.2 出力タスクの設定

帳票、ファイル変換出力に関する詳細の設定を行います。設定できるタスク数は 200 です。設定項目は実行内容（標準帳票、変換出力、カスタム帳票）により異なります。

ファイル種類

標準帳票出力するデータファイルの種類を選択します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ファイル種類	データ / レポート / マニュアル	データ

選択肢	説明
データ	イベントデータ、表示データ
レポート	レポートデータ
マニュアル	マニュアルサンプルデータ

テンプレートファイル

カスタム帳票のテンプレートファイル (*.tpl、*.xlsm、*.xlsx) を指定します。

操 作

- 1 [参照] ボタンをクリックします。
[開く] ダイアログが表示されます。
- 2 テンプレートファイルの保存場所からファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

テンプレートファイル (*.tpl) は SMARTDAC+ レポートテンプレートビルダにて作成できます。

SMARTDAC+ レポートテンプレートビルダは当社ウェブサイトから無償でダウンロードできます。

操作完了

基準データファイル

カスタム帳票のとき、チャンネルおよびグループ設定の選択リストで参照とする基準データファイルを読み込みます。

基準データファイルを読み込むことで、ファイル内で有効なチャンネル（タグ、タグコメント）およびグループのみが選択リストに表示されます。

参照した内容は、下記の設定の選択リストに反映されます。

- ・ レポートチャンネルのチャンネル割り振り
- ・ バッチ報（基準値）の実行モードのチャンネル設定
- ・ グラフのグループ設定

Note
基準データファイルを読み込んだ後に機種、実行内容を変更した場合、読み込んだ基準データファイルの基本情報は初期化されます。チャンネル、グループ設定の選択リストに基準データファイルの情報を反映する場合は、再度、基準データファイルを読み込んでください。

操 作

- 1 [データファイルを読み込み] ボタンをクリックします。
[開く] ダイアログが表示されます。
- 2 基準データファイルの保存場所から、ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。
基準データファイルが読み込まれます。

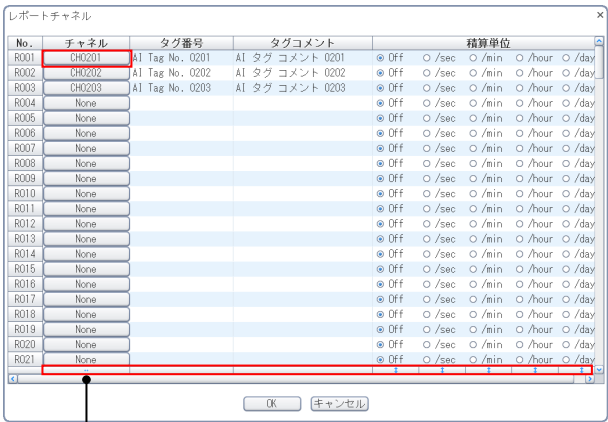
操作完了

レポートチャンネル

カスタム帳票の、レポートチャンネルにチャンネルを割り振ります。

操 作

- 1 [レポートチャンネルの割り振り] ボタンをクリックします。
[レポートチャンネル] ダイアログが表示されます。
- 2 割り振るチャンネルのボタンをクリックします。
[チャンネル選択] ダイアログが表示されます。



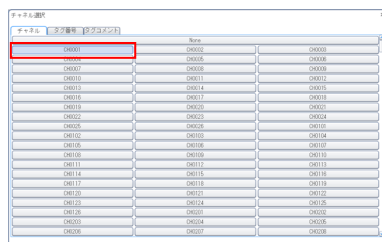
一括編集

設定データを一括で編集する場合は、対象の設定データを選択してから、画面下部の操作バー上のボタンをクリックして行います。

- : 選択範囲の先頭を基準にチャンネル番号を昇順で割り付ける
- : 選択範囲をボタンの列の値にする

4.1 出力タスクを設定する

- 3 チャンネル、タグ番号、または、タグコメントから、割り振るチャンネルをクリックします。



- 4 積算単位を設定して [OK] をクリックします。

操作完了

帳票種類

カスタム帳票の帳票種類を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
帳票種類	時報+日報 / 日報+週報 / 日報+月報 / バッチ報 / 日報力 スタム / バッチ報 (基準値)	時報+日報

Note

μR10000/20000 のデータファイルを使用し、かつカスタム帳票の帳票種類として「バッチ報」または「バッチ報 (基準値)」以外を使用する場合は、μR10000/20000 の測定周期を 1s または 125ms に設定してください。

測定周期が 1 秒よりも遅い場合、帳票生成のトリガとなる時刻 (例: 00:00:00) のデータが存在しないことがあり、その結果、帳票が正常に生成されない場合があります。

実行モード

実行モードを設定します。

実行内容が標準帳票または変換出力の場合、実行モードにより設定する項目が異なります。カスタム帳票の場合は、帳票種類の設定により、実行モード、設定する項目が異なります。

実行内容が標準帳票または変換出力のとき

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
実行モード *	即時 / 周期 / 毎週 / 毎月	即時

* ファイル種類がレポート / マニュアルのときは [即時] に固定です。

実行モードによる設定項目

実行モード：即時

設定項目はありません。検索フォルダに新たにデータファイルが来ると実行します。

実行モード：周期

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
時間	1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間	1 時間
基準時刻	00:00:00 ~ 23:59:00 (秒は固定)	00:00:00

実行モード：毎週

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
曜日	日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日	日曜日
基準時刻	00:00:00 ~ 23:59:00 (秒は固定)	00:00:00

実行モード：毎月

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
日	1 日～ 31 日	1 日
基準時刻	00:00:00 ～ 23:59:00（秒は固定）	00:00:00

実行内容がカスタム帳票のとき

実行モードは帳票種類により固定です。

帳票種類による設定項目

帳票種類：時報＋日報（実行モード：毎日）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
基準時刻	00:00:00 ～ 23:59:00（秒は固定）	00:00:00

帳票種類：日報＋週報（実行モード：毎週）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
曜日	日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日	日曜日
基準時刻	00:00:00 ～ 23:59:00（秒は固定）	00:00:00

帳票種類：日報＋月報（実行モード：毎月）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
日	1 日～ 31 日	1 日
基準時刻	00:00:00 ～ 23:59:00（秒は固定）	00:00:00

帳票種類：バッチ報（実行モード：即時）

実行モードは[即時]に固定です。

セーブ周期を設定します。

▶ 4-7 ページの「セーブ周期」

帳票種類：日報カスタム（実行モード：周期）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
時間	1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間	1 時間
基準時刻	00:00:00 ～ 23:59:00（秒は固定）	00:00:00

帳票種類：バッチ報（基準値）

バッチ報（基準値）の開始 / 終了条件を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
チャンネル *	GX/GP/GM None/ 入力チャンネル / 演算チャンネル / 通信チャンネル DX None/ 入力チャンネル / 演算チャンネル / 拡張チャンネル FX None/ 入力チャンネル / 演算チャンネル μR None/ 入力チャンネル / 演算チャンネル	None
開始条件	閾値 -1.0E16 ～ 1.0E16、小数点位置：0 ～ 6、入力した位置数	0
	スロープ Up/Down	Up
終了条件	閾値 -1.0E16 ～ 1.0E16、小数点位置：0 ～ 6、入力した位置数	0
	スロープ Up/Down	Down

* チャンネル番号の詳細は各機種的一般仕様書を参照してください。

4.1 出力タスクを設定する

設定項目	説明
チャンネル	データファイル内のデータの値を監視するチャンネルを指定します。
開始条件	開始条件とする閾値とスロープを設定します。
終了条件	終了条件とする閾値とスロープを設定します。

解説

バッチ報（基準値）

データファイル内の比較対象チャンネルの値を監視して、開始条件、終了条件に基づき帳票出力を実行します。

比較対象チャンネルの値が、開始条件の値になった時点を対象範囲の開始時刻、終了条件の値になった時点を対象範囲の終了時刻とします。

取得したデータの最初の値がすでに開始条件を満たしているときは、最初のデータが対象範囲の開始時刻になります。

出力停止をした場合は、対象範囲の終了時刻は取得した最新データファイルの最後の時刻になります。

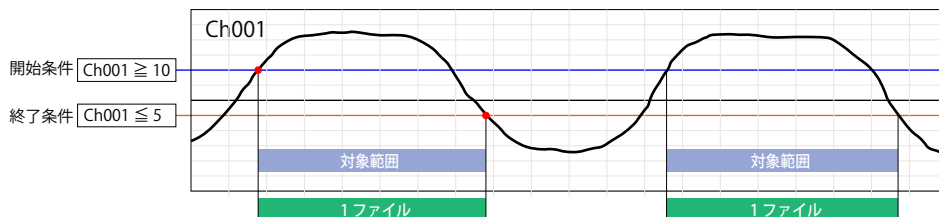
開始条件と終了条件が同時に発生する時の処理

開始条件と終了条件が同時に発生した場合、終了＝開始となるため、対象範囲の終了時点を確定しません。

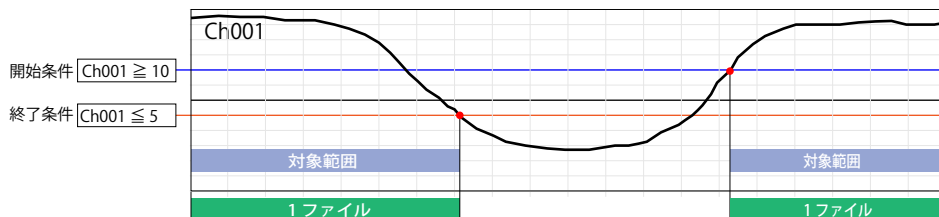
その場合、最大の対象範囲は 2880 × セーブ周期の期間のデータとなります。

レポートデータ数が 2880 個を超えた場合は、ファイルを分割して出力します。

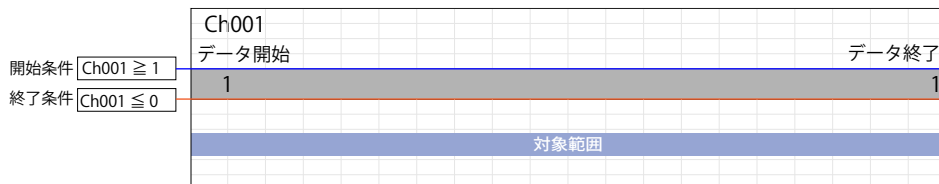
例 1 開始 / 終了条件による対象範囲



例 2 最初のデータがすでに開始条件を満たしている場合



例 3 開始 / 終了条件が同時に発生した場合



セーブ周期

カスタム帳票で、帳票種類がバッチ報、バッチ報（基準値）の場合、帳票処理を実行する周期を設定します。

帳票処理の最大のデータ点数は 2880 です。2880 を超えた場合はファイルを分割します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
セーブ周期	1min/2min/3min/4min/5min/10min/15min/30min/1hour	10min

対象範囲

標準帳票、変換出力の、出力範囲の対象とする時刻範囲を設定します。

対象範囲は実行モードにより設定する項目が異なります。

実行モード：即時

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
対象範囲	全て / 指定時刻	全て
開始時刻	00:00:00 ～ 23:59:59	00:00:00
終了時刻	00:00:00 ～ 23:59:59	23:59:59

実行モード：周期

設定項目	周期選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	前周期	基準時刻～（周期 -1）:59:59	前周期
	当周期	00:00:00 ～ 基準時刻	00:00:00
終了時刻	前周期	基準時刻～（周期 -1）:59:59	当周期
	当周期	00:00:00 ～ 基準時刻	00:00:00

実行モード：毎週

設定項目		設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	週	前の週 / 当週	前の週
	曜日	日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日	日曜日
	時刻	00:00:00 ～ 23:59:59	00:00:00
終了時刻	週	前の週 / 当週	当週
	曜日	日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日	日曜日
	時刻	00:00:00 ～ 23:59:59	00:00:00

実行モード：毎月

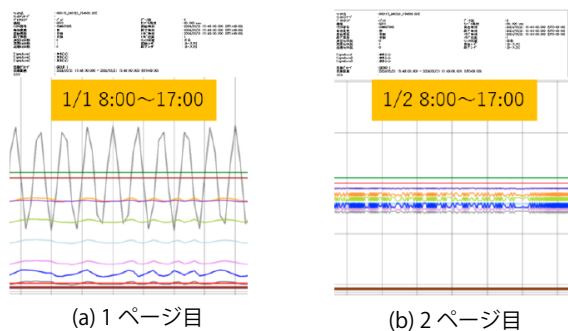
設定項目		設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	月	前月 / 当月	前月
	日	1 日～ 31 日	1 日
	時刻	00:00:00 ～ 23:59:59	00:00:00
終了時刻	月	前月 / 当月	当月
	日	1 日～ 31 日	1 日
	時刻	00:00:00 ～ 23:59:59	00:00:00

4.1 出力タスクを設定する

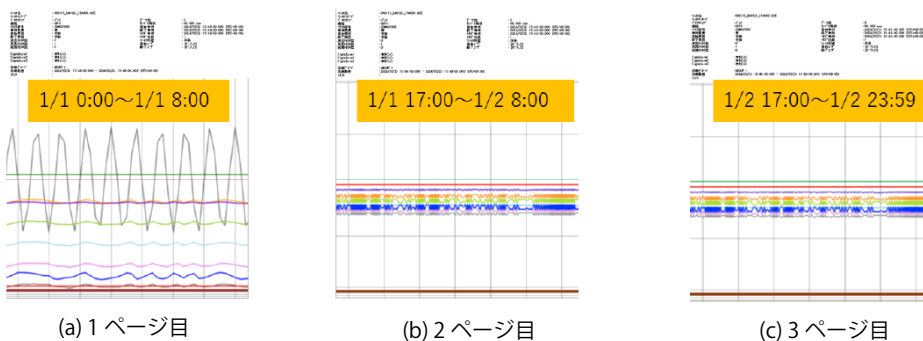
解 説

1つの記録データファイルの中に、該当する出力範囲が複数ある場合は、それぞれの範囲において複数セットを1ファイルで出力します。

例1：記録期間が1/1 0:00～1/2 23:59のデータファイルで、出力範囲が8:00～17:00に設定された場合、下図の通りに1ファイルで出力されます。



例2：対象範囲の指定で、開始時刻>終了時刻を指定した場合、記録期間が1/1 0:00～1/2 23:59のデータファイル、出力範囲が17:00～8:00に設定された場合、下図の通り複数セットが1ファイルで出力されます。



検索フォルダ

帳票、ファイル変換出力の検索対象となるフォルダを選択します。

検索フォルダはローカルディスクを設定することを推奨します。

[参照] ボタンから設定できます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
検索フォルダ	最大 255 文字	—

Note

検索フォルダは処理済みファイル保管フォルダと重複することはできません。

出力先フォルダ

帳票、ファイル変換出力の出力先フォルダを選択します。

[参照] ボタンから設定できます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
出力先フォルダ	最大 255 文字	—

処理済みファイル保管

帳票、ファイル変換出力実行後の、処理済みデータファイルの処理を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
処理済みファイル保管	OFF/ ファイル複製/ ファイル移動	OFF

選択肢	説明
OFF	データファイルの複製や移動は行いません。
ファイル複製 *	指定したフォルダにデータファイルを複製します。 同期化をするときは、[同期化]をチェックします。
ファイル移動 *	指定したフォルダにデータファイルを移動します。

* 検索フォルダの中にあるデータファイルは削除されます。

同期化：検索フォルダ内のファイルに変更/更新があった場合、更新したファイルを保管フォルダ内に上書きします。

Note

処理済みファイル保管フォルダは検索フォルダと重複することはできません。

プリンタ

標準帳票の出力先プリンタを選択します。

Note

PDF ファイルを出力する場合は、プリンタに [Microsoft Print to PDF] を選択してください。
[Microsoft Print to PDF] 以外の仮想プリンタはサポートしていません。

プリンタ出力

カスタム帳票をプリンターに出力（紙印刷）するかどうかを設定します。

出力する場合は出力先プリンタを選択します。

仮想プリンターを選択すると印刷失敗になります。

Excel テンプレート使用時は表示されません。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
プリンタ出力	しない/する	しない

用紙サイズ

標準帳票出力の用紙サイズを設定します。

指定プリンタから取得した用紙サイズリストが表示されます。

A4 サイズから A3 サイズまでの用紙をご使用ください。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
用紙サイズ	指定プリンタから取得した用紙サイズ	A4*

* A4 がない場合はプリンタが返す用紙サイズ。

印刷の向き

標準帳票出力の印刷の向きを設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
印刷の向き	縦/横	縦

4.1 出力タスクを設定する

カラーモード

標準帳票出力のカラーモードを設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
カラーモード	黒 / 白、カラー	カラー

ファイル名命名規則

出力ファイルのファイル名の先頭に、対象機種種のシリアル番号を付加するかどうか設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ファイル名命名規則	自動 / シリアル番号付加	自動

選択肢	説明
自動	ファイル名に対象機種種のシリアル番号は付加しません。
シリアル番号付加	ファイル名の先頭に対象機種種のシリアル番号を付加します。

ファイル名

出力したファイル名は以下の命名規則となります。

実行内容	命名規則	ファイル名
標準帳票 / 変換出力	自動	データファイル名・拡張子 出力対象名 連番 拡張子 例：000123_260708_123456.GSE_GRAPH_01.pdf
	シリアル番号付加	シリアル番号 データファイル名・拡張子 出力対象名 連番 拡張子 例：S5A123456_000123_260708_123456.GSE_GRAPH_01.pdf
カスタム帳票	自動	年月日時分秒 連番 拡張子 例：20260708123456_01.pdf
	シリアル番号付加	シリアル番号 年月日時分秒 連番 拡張子 例：S5A123456_20260708123456_01.pdf

* データファイルの拡張子

標準帳票 / 変換出力の出力対象名

出力対象	出力対象名
波形	GRAPH
デジタル	SHEET
サーキュラ	CIRCULAR
アラーム一覧	ALARM
マーカー一覧	MARK
操作履歴一覧	OPERATE
レポート (時報)	REPORT_HOUR
レポート (日報)	REPORT_DAY
レポート (週報)	REPORT_WEEK
レポート (月報)	REPORT_MONTH
レポート (バッチ報)	REPORT_BATCH
レポート (日報カスタム)	REPORT_CUSTOM
レポート (フリー)	REPORT_FREE
レポート (全表示)	REPORT_ALL
レポート (積算バークラフ)	REPORT_INTEG
データ変換	DATA
区間演算	STAT

Note

出力対象として複数の画面が指定されている場合、ファイル名に出力対象名は付加されません。

PDF 編集パスワード

標準帳票、カスタム帳票は PDF ファイルとして出力する場合、編集パスワードを付与することができます。

PDF に編集パスワードを付加する場合は [ON] にします。

テンプレートファイルが *.tpl のときに有効です。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
PDF 編集パスワード	OFF/ON	OFF

操 作

パスワード設定

- 1 [パスワード] ボタンをクリックします。
[パスワード入力] ダイアログが表示されます。
- 2 パスワード、パスワードの確認を設定して [OK] をクリックします。

操作完了

出力言語

帳票、ファイル変換出力の言語を設定します。言語によって日付形式、小数点表示形式が異なります。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
出力言語	英語 / 日本語 / 中国語（簡体） / 中国語（繁体） / フランス語 / ドイツ語 / ロシア語 / 韓国語 / イタリア語	OS の言語

出力言語による日付形式と小数点記号

出力言語	日付形式		小数点記号	
	標準帳票 / カスタム帳票	変換出力	標準帳票 / カスタム帳票	変換出力
英語	月 / 日 / 年	年 / 月 / 日	ドット (.)	ドット (.)
日本語	年 / 月 / 日		ドット (.)	
中国語（簡体）	年 / 月 / 日		ドット (.)	
中国語（繁体）	年 / 月 / 日		ドット (.)	
フランス語	日 / 月 / 年		カンマ (,)	
ドイツ語	日 . 月 . 年		カンマ (,)	
ロシア語	日 . 月 . 年		カンマ (,)	
韓国語	年 / 月 / 日		ドット (.)	
イタリア語	日 / 月 / 年		カンマ (,)	

チャンネル名

標準帳票、変換出力の、チャンネルの表示名を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
チャンネル名	チャンネル / タグ番号 / タグコメント	チャンネル

ヘッダ項目

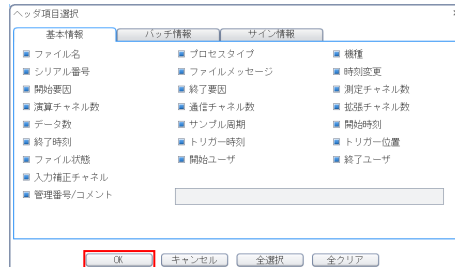
標準帳票でファイル種類がデータ、変換出力のとき、出力するファイルに含めるヘッダ項目を選択します。

ファイル基本情報、バッチ情報、サイン情報を出力することができます。

4.1 出力タスクを設定する

操 作

- 1 [選択] ボタンをクリックします。
[ヘッダ項目選択] ダイアログが表示されます。
- 2 [ヘッダ項目選択] ダイアログの基本情報、バッチ情報、サインイン情報で、出力するファイルに含めるヘッダ項目を選択します。



印刷コメントには、コメントを設定することができます。

- 3 [OK] をクリックします。

[操作完了](#)

ヘッダ項目

タブ	項目	初期値
ファイル基本情報	ファイル名	チェック
	プロセスタイプ	
	機種	
	シリアル番号	
	ファイルメッセージ	
	時刻変更	
	開始要因	
	終了要因	
	測定チャンネル数	
	演算チャンネル数	
	通信チャンネル数	
	拡張チャンネル数	
	データ数	
	サンプル周期	
	開始時刻	
	終了時刻	
	トリガ時刻	
	トリガ位置	
	ファイル状態	
	開始ユーザ	
	終了ユーザ	
バッチ情報	入力補正チャンネル	未チェック
	管理番号 / コメント	
	バッチ番号	
	ロット番号	
	コメント 1	
	コメント 2	
	コメント 3	
サイン情報	バッチテキスト	未チェック
	タイトル 1 ～タイトル 24	
	サイン 1	
	サイン 1 コメント	
	サイン 2	
	サイン 2 コメント	
	サイン 3	
	サイン 3 コメント	

選択グループ

標準帳票でファイル種類がレポートのときの、印刷または出力したいグループを選択します。

操 作

- 1. [選択] ボタンをクリックします。
[選択グループ] ダイアログが表示されます。
- 2. [グループ選択] ダイアログから印刷、または出力したいグループを選択して、[OK] をクリックします。



操作完了

グループ

ファイル変換するグループの範囲を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
グループ	開始	1 ～ 60
	終了	1 ～ 60

区間演算表示

帳票、ファイル変換出力する際の、設定した時刻範囲の区間演算結果の表示 / 非表示を設定します。

表示する演算値は、最小値、最大値、P-P 値、平均値、実行値です。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
区間演算表示	OFF/ON	OFF

Note

- P-P 値は「最大値 - 最小値」の値です。
- 実行値の計算式は以下の通りです。

実効値 = $\sqrt{\frac{1}{n} \sum_{k=0}^{n-1} (x_k)^2}$

n: データ数
x_k: 値

4.1 出力タスクを設定する

印刷 / 出力対象

標準帳票の印刷対象となる画面を選択します。複数選択することができます。
波形、サーキュラの場合は、詳細について設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
印刷 / 出力対象	波形 / デジタル / サーキュラ / アラームリスト / マーク リスト / 操作履歴一覧	波形

詳細設定（波形、サーキュラ）

操 作

- 1 [詳細] ボタンをクリックします。
[波形設定] または [サーキュラ設定] ダイアログが表示されます。
- 2 各波形の詳細設定をします。

波形

サーキュラ

- 3 [OK] をクリックします。
[波形設定] または [サーキュラ設定] ダイアログが閉じます。

操作完了

内 容

線の太さ

波形表示とサーキュラ表示の線の太さを指定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
線の太さ	0.25pt/0.5pt/1.0pt/1.5pt/3.0pt	1.0pt

Y 軸ゾーン

Y 軸の表示方法を選択します。

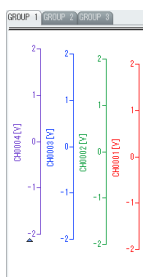
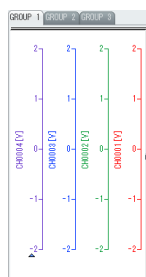
設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
Y 軸ゾーン	フルゾーン / スライドゾーン / 自動ゾーン	フルゾーン

選択肢	説明
フルゾーン	全波形をフルゾーンで表示します。
スライドゾーン	各波形を波形表示エリアの上から下に順次ずらして表示します。
自動ゾーン	表示波形の数に応じて波形表示エリアを等分割して表示します。

フルゾーン

スライドゾーン

自動ゾーン



アクティブ Y 軸

最前面に表示する波形を設定します。

選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
アクティブ Y 軸	1 ～ 50	1

Y 軸列数

波形表示、サーキュラ表示を印刷するときの Y 軸スケールを列数で指定します。列数には、右から何列目までの Y 軸を印刷するかを（アクティブ Y 軸を含めた数で）指定します。

選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
Y 軸列数	1 ～ 50	1

解 説

アクティブ Y 軸の列を優先し、右から指定した列数で Y 軸が印刷されます。
たとえば、列数に「1」を入力すると、アクティブな Y 軸だけが印刷されます。「3」を入力すると、アクティブな Y 軸 + 右から 2 列目までの Y 軸が印刷されます。

Y 軸グリッド

Y 軸のグリッドを設定します。

選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
Y 軸グリッド	標準グリッド / 密グリッド 1 / 密グリッド 2 / 密グリッド 3 / 密グリッド 4	標準グリッド

Y 軸目盛

Y 軸の目盛を設定します。

選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
Y 軸目盛	標準グリッドに固定 / 密グリッドに連動	標準グリッドに固定

凡例

波形表示の凡例の有無を設定します。

選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
凡例	有 / 無	有

凡例位置

波形表示の凡例位置を設定します。

選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
凡例位置	波形 上 / 下 / 左 / 右 サーキュラ 右（固定）	右

フォントサイズ

波形表示内のフォントのサイズを設定します。

対象は、Y 軸、時間軸、マーク、および、凡例です。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
フォントサイズ	6pt/7pt/7.5pt/8pt/9pt/10pt/11pt/12pt/14pt/16pt/20pt	7.5pt

4.1 出力タスクを設定する

波形印刷形式

波形表示を印刷するときのページ数を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
波形印刷形式	1 ページ / 複数ページ	1 ページ

選択肢	説明
1 ページ	指定した範囲を 1 ページで印刷します。
複数ページ	指定した範囲を固定のピッチで印刷します。 固定ピッチの目盛線に対して、[波形印刷グリッド] の時間をあてはめて印刷します。

波形印刷グリッド

波形表示を印刷するときの時間軸の目盛間隔と、目盛の補助線を指定します。

[波形印刷グリッド]を選択してから、[サブグリッド]を選択してください。[波形印刷グリッド] の選択肢によって、[サブグリッド] の選択肢が変更されます。

[波形印刷形式] で 1 ページ印刷を選択した場合、グリッドは指定できません。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
波形印刷グリッド	標準グリッド / 密グリッド 1/ 密グリッド 2/ 密グリッド 3/ 密グリッド 4	標準グリッド

波形印刷グリッドとサブグリッドの選択肢

波形印刷グリッドの 選択肢 [/div]	波形印刷グリッドの選択肢に対するサブグリッドの選択肢					
3months	None	1month	15days	10days	5days	1day
1month		15days	10days	5days	1day	12hours
7days		1day	12hours	6hours	3hours	1hour
1day		12hours	6hours	3hours	1hour	30min
12hours		6hours	3hours	1hour	30min	10min
8hours		4hours	2hours	1hour	30min	10min
6hours		3hours	1hour	30min	10min	5min
4hours		2hours	1hour	30min	10min	5min
3hours		1hour	30min	10min	5min	2min
2hours		1hour	30min	10min	5min	2min
1hour		30min	10min	5min	2min	1min
30min		10min	5min	2min	1min	30sec
20min		10min	5min	2min	1min	30sec
10min		5min	2min	1min	30sec	10sec
5min		2min	1min	30sec	10sec	5sec
2min		1min	30sec	10sec	5sec	2sec
1min		30sec	10sec	5sec	2sec	1sec
30sec		10sec	5sec	2sec	1sec	500ms
20sec		10sec	5sec	2sec	1sec	500ms
10sec		5sec	2sec	1sec	500ms	200ms
5sec		2sec	1sec	500ms	200ms	100ms
2sec		1sec	500ms	200ms	100ms	50ms
1sec		500ms	200ms	100ms	50ms	20ms
500msec		200ms	100ms	50ms	20ms	10ms
200msec		100ms	50ms	20ms	10ms	5ms
100msec		50ms	20ms	10ms	5ms	2ms

サーキュラ分割周期、サブ分割

サーキュラ表示を印刷するときの周期と、時間軸の目盛の補助線を指定します。

[サーキュラ分割周期] を選択してから、[サブ分割] を選択してください。

[サーキュラ分割周期] の選択肢によって、[サブ分割] の選択肢が変更されます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
サーキュラ分割周期 (/ rev)	1hour/2hours/6hours/8hours/12hours/16hours/1day/ 2days/1week/2weeks/4weeks	1hour
サブ分割	サーキュラ分割周期とサブ分割の選択肢参照	None

サーキュラ分割周期とサブ分割の選択肢

サーキュラ分割周期 の選択肢 [/rev.]	サーキュラ分割周期の選択肢に対するサブ分割の選択肢					
4weeks	None	12hours	6hours	3hours	1hour	30min
2weeks		12hours	6hours	3hours	1hour	30min
1week		12hours	6hours	3hours	1hour	30min
2days		2hours	1hour	30min	10min	5min
1day		1hour	30min	10min	5min	2min
16hours		1hour	30min	10min	5min	2min
12hours		30min	10min	5min	2min	1min
8hours		30min	10min	5min	2min	1min
6hours		10min	5min	2min	1min	30sec
2hours		5min	2min	1min	30sec	10sec
1hour		2min	1min	30sec	10sec	5sec

レポート種類

標準帳票出力の印刷対象となるレポート種類を選択します。複数選択することができます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
レポート種類	時報 / 日報 / 週報 / 月報 / バッチ報 / 日報カスタム / フリー 時報 / 全表示 / 積算バーグラフ	

ページ結合

標準帳票出力で、[印刷 / 出力対象] が複数ある場合、ページを結合して 1 つのファイルとして出力するか選択します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ページ結合	OFF/ON	OFF

変換データ

ファイル変換出力の対象となる項目を選択します。複数選択することができます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
変換データ	データ / アラームリスト / マークリスト / 操作履歴一覧	データ

ステップ数

ファイル変換出力がデジタルの場合、変換後のデータが大量にならないように、データの間引きを行うことができます。

間引きはステップ数で指定します。指定範囲内のすべてのデータを変換する場合は、ステップ数を 1 にしてください。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ステップ数	1 ~ 32,000,000	1

4.1 出力タスクを設定する

出力形式

ファイル変換出力時のファイル形式を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
出力形式	Excel/CSV	Excel

Note

出力する Excel ファイルの拡張子は「*.xlsx」です。

グラフ

カスタム帳票出力のグラフの詳細について設定します。

4 種類のグラフ（グラフ 1～グラフ 4）を設定できます。

グラフ 1～4

印刷 / 出力対象

印刷 / 出力対象を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
印刷 / 出力対象	None/ 波形 / アラームリスト / マークリスト / 操作履歴一覧	None

対象範囲

対象範囲は、帳票種類によって異なります。

時報 + 日報

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	日	前日 / 当日
	時刻	00:00:00 ~ 23:59:59
終了時刻	日	前日 / 当日
	時刻	00:00:00 ~ 23:59:59

日報 + 週報

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	週	前の週 / 当週
	曜日	日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日
	時刻	00:00:00 ~ 23:59:59
終了時刻	週	前の週 / 当週
	曜日	日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日
	時刻	00:00:00 ~ 23:59:59

日報 + 月報

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	月	前月 / 当月
	日	1 日 ~ 31 日
	時刻	00:00:00 ~ 23:59:59
終了時刻	月	前月 / 当月
	日	1 日 ~ 31 日
	時刻	00:00:00 ~ 23:59:59

バッチ報

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	開始データ（固定）	開始データ
終了時刻	終了データ（固定）	終了データ

日報カスタム

設定項目	周期選択肢	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	前周期	基準時刻～（周期 -1）:59:59	前周期
	当周期	00:00:00 ～基準時刻	00:00:00
終了時刻	前周期	基準時刻～（周期 -1）:59:59	当周期
	当周期	00:00:00 ～基準時刻	00:00:00

バッチ報（基準値）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
開始時刻	開始条件（固定）	開始条件
終了時刻	終了条件（固定）	終了条件

グループ（波形のとき）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
グループ	Group 01 ～ Group 60	有効な一番小さいグループ番号

カラーモード

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
カラーモード	黒 / 白、カラー	カラー

チャンネル名（波形、アラームリストのとき）

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
チャンネル名	チャンネル / タグ番号 / タグコメント	チャンネル

波形設定 詳細（波形のとき）

印刷 / 出力対象の波形、サーキュラの詳細設定と同じです。
▶「4.1.2 出力タスクの設定」、印刷 / 出力対象印刷の「詳細設定（波形、サーキュラ）」を参照してください。

4.1.3 タスク設定のコピーと貼り付け

タスク設定の内容をコピーして、他のタスクに貼り付けることができます。

操 作

- 1 コピー元のタブを選択します。
- 2 メニューの [編集] - [コピー] を選択するか、[コピー] アイコンをクリックします。
- 3 コピー先のタブを選択します。
- 4 メニューの [編集] - [貼り付け] を選択するか、[貼り付け] アイコンをクリックします。

操作完了

4.2 FTP クライアントを設定する

FTP クライアントを設定します。

画面



4.2.1 FTP クライアント設定のコピーと貼り付け

FTP クライアントの設定内容をコピーして、他の FTP クライアントに貼り付けることができます。

操 作

- 1 コピー元のタブを選択します。
- 2 メニューの [編集] - [コピー] を選択するか、[コピー] アイコンをクリックします。
- 3 コピー先のタブを選択します。
- 4 メニューの [編集] - [貼り付け] を選択するか、[貼り付け] アイコンをクリックします。

操作完了

4.2.2 FTP クライアント設定

名前

FTP クライアントの名称を設定します。ここで設定した名称が、FTP クライアントタブの名称になります。名称に「* (アスタリスク)」は設定できません。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
名前	最大 30 文字	001 ~ 200

実行モード

FTP クライアントの実行モードを設定します。

FTP クライアント名が表示されているタブにマウスカーソルとあてると FTP クライアント番号を確認することができます。FTP クライアント番号:FTP クライアント名というフォーマットで表示されます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
実行モード	自動 /PC 起動時のみ	自動

選択肢	説明
自動	10 分周期でレコーダから対象ファイルを取得します。
PC 起動時のみ	PC を起動した時、1 回のみレコーダから対象ファイルを取得します。

ホスト名 /IP アドレス

FTP サーバー名 /IP アドレスを設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ホスト名 /IP アドレス	文字列、255 文字以内	—

ポート番号

FTP サーバーのポート番号を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ポート番号	21、1024 ～ 65535	21

取得フォルダ

データファイルの取得フォルダを設定します。

取得フォルダは選択肢により異なります。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
取得フォルダ	内部 / 外部 / カスタム	内部

選択肢	説明
内部	/MEMO/DATA/ (固定)
外部	文字列、255 文字以内 (初期値: /DRV0/DATA0/、/DRV0/ は固定)
カスタム	文字列、255 文字以内

暗号化

暗号化を設定します。

暗号化が SSL/TLS の場合、証明書の確認をするときは [証明書の確認] にチェックを入れます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
暗号化	OFF、SSL/TLS	OFF

認証

認証を行う場合は [ON] にします。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
認証	OFF/ON	OFF

ユーザ名

FTP サーバーのユーザー名を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ユーザ名	FTP サーバーに依存	—

パスワード

パスワードを設定します。パスワードは「*****」で表示されます。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
パスワード	FTP サーバーに依存	—

PASV モード

PASV モードを必要とするファイアウォール内で使用するとき [On] にします。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
PASV モード	OFF/ON	ON

保存フォルダ

取得したファイルの保存フォルダを設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
保存フォルダ	文字列、255 文字以内	—

操 作

フォルダ名を入力するか、[参照] ボタンから保存フォルダを選択して [OK] をクリックします。

マルチバッチの対応

マルチバッチを有効にするときは、[マルチバッチ] にチェックを入れます。

マルチバッチが有効になった場合、レコーダから取得したデータファイル名をチェックして、第 1 文字 (A ～ M) によりサブフォルダを作成しデータファイルを入れます。

ファイル種類

取得するデータファイルの種類を設定します。

設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
ファイル種類	イベントデータ / 表示データ / レポート / マニュアル	イベントデータ

取得期間

実行モードが [PC 起動時のみ] のとき、ファイルを取得する期間を設定します。

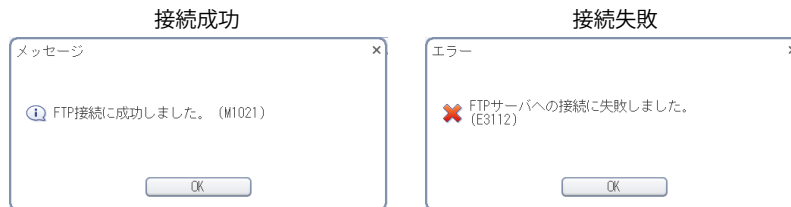
設定項目	設定範囲または選択肢	初期値
取得期間	1 週間 / 1 ヶ月間 / 2 ヶ月間	1 週間

4.2.3 接続テスト

レコーダに FTP クライアントで接続して、ファイル一覧を取得します。

操 作

- 1 [接続テスト] ボタンをクリックします。
接続結果によるダイアログが表示されます。



接続に失敗した場合は、接続先の FTP サーバーの情報が正しいか確認して、再度、接続テストを行ってください。

- 2 [OK] をクリックします。

操作完了

4.3 設定をエクスポート / インポートする

設定情報ファイルをエクスポート / インポートします。
インポートできる設定情報ファイルの拡張子は .rfs または .vop (VE10) です。

操 作

設定をエクスポートする

- 1 メニューの [ファイル] - [設定のエクスポート] を選択するか、[設定のエクスポート] アイコンをクリックします。
[名前を付けて保存] ダイアログが開きます。
- 2 保存場所を選び、名前を付けて保存します。
指定した場所に設定情報ファイル（拡張子：.rfs）が保存されます。

操作完了

設定をインポートする

- 1 メニューの [ファイル] - [設定のインポート] を選択するか、[設定のインポート] アイコンをクリックします。
[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。
- 2 設定情報ファイルの保存場所から、インポートしたいファイル（拡張子：.rfs または .vop）を選択し、[開く] をクリックします。

操作完了

Note

対象は設定画面の情報のみです。認証情報、コメント入力是对象外になります。

4.4 設定情報を表示する

現在の設定内容と、設定の変更による差分を表示します。

4.4.1 現在の設定情報を表示する

操 作

- 1 メニューの[表示]－[設定表示]を選択します。
設定情報が表示されます。

タスク、FTP クライアント
表示選択

項目名	表示選択	タスク名	Task001
001: Task001	☒	実行内容	カスタム帳票
002: Task002	☒	機種	GX/GP/GM
003: Task003	☒	テンプレートファイル	Task_001.tpl
004: Task004	☒	基準データファイル	001410_260513_144801.GEV
005: Task005	☒	レポートチャンネル	R001: CH0001 積算単位: Off R002: CH0002 積算単位: Off R003: CH0003 積算単位: Off R004: CH0004 積算単位: Off R005: CH0005 積算単位: Off R006: CH0006 積算単位: Off R007: CH0007 積算単位: Off R008: CH0008 積算単位: Off R009: CH0009 積算単位: Off R010: CH0010 積算単位: Off
006: Task006	☒	帳票種類	時報 + 日報
007: Task007	☒	実行モード	毎日 00:00:00
008: Task008	☒	検索フォルダ	C:\RF10_FTP サブフォルダを含む: ON
009: Task009	☒	出力フォルダ	C:\RF10_Report
010: Task010	☒	処理済みファイル保管	ファイル複製 同期化: ON C:\RF10_Backup
011: Task011	☒	プリンタ出力	しない
012: Task012	☒	ファイル名命名規則	自動
013: Task013	☒	PDF編集パスワード	ON: *****
014: Task014	☒	出力言語	日本語
015: Task015	☒	グラフィック印刷/出力対象	波形
016: Task016	☒		開始時刻: 前日 00:00:00

表示選択のチェックボックスにより、詳細を表示するタスク、FTP クライアントを選択できます。

操作完了

4.4 設定情報を表示する

4.4.2 差分の設定情報を表示する

設定に変更があった項目は変更前 / 変更後の内容が表示され、変更前の設定内容は取り消し線で表示されます。

操 作

- 1 メニューの [表示] - [監査証跡] を選択します。
[監査証跡] のダイアログが表示されます。
- 2 [詳細情報] の [表示] ボタンをクリックします。
[詳細情報] のダイアログが表示されます。
- 3 [差分表示] ボタンをクリックします。
設定差分情報が表示されます。



設定差分情報

項目名	タスク名	Task001
☒ 全て表示	実行内容	標準帳票
☒ 001: Task001	機種	GX/GP/GM DX/FX pR
☒ 002: Task002	ファイル種類	データ
☒ 003: Task003	実行モード	即時
☒ 004: Task004	対象範囲	全て
☒ 005: Task005	検索フォルダ	サブフォルダを含む: OFF
☒ 006: Task006		
☒ 007: Task007		
☒ 008: Task008		
☒ 009: Task009		

差分表示

- 4 [OK] をクリックするとダイアログが閉じます。

操作完了

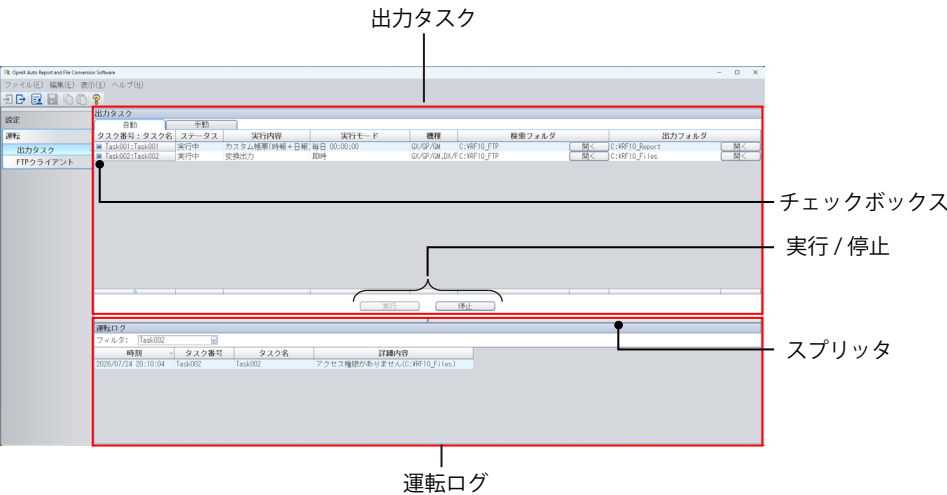
5.1 出力タスクを実行する

出力タスクの運転は、自動および手動の 2 種類があります。

5.1.1 自動運転で実行する

自動運転は、出力タスクの実行モードの設定に基づいて、タスクを実行します。

運転画面



ボタン

名称	説明
実行	自動運転の実行
停止	自動運転の停止

アイコン（自動、手動で共通）

アイコン	操作結果
	一斉切り替え 行を選択してクリックすると、選択行が先頭行と同じチェック / 未チェックの状態になります。クリックするごとに選択範囲のチェック / 未チェックが切り替わります。
	スプリッタをクリックすると、運転ログ画面の表示 / 非表示が切り替わります。

5.1 出力タスクを実行する

出力タスクの表示内容

表示項目	内容
タスク番号 : タスク名	実行内容が設定されているタスクのタスク番号、タスク名
チェックボックス	タスクの選択 / 未選択 実行、または停止するタスクのチェックをします。
ステータス	タスクの実行状態 --- : 停止状態 待機中 : タスクの運転を開始し、タスク実行を待っているとき 実行中 : タスクを実行しているとき
実行内容	実行内容 (標準帳票、変換出力、カスタム帳票 (帳票種類))
実行モード	実行モード 自動 : 即時 周期 : number 周期 HH:MM:SS (number: 周期の値) 毎日 : 毎日 HH:MM:SS 毎週 : 毎週 weekDay HH:MM:SS (weekday: 曜日) 毎月 : 毎月 day HH:MM:SS (day: 日) セーブ周期 : セーブ周期 time (time: 時間、1 分 ~ 1 時間) Level : 開始条件、終了条件 (HH : 0 ~ 23、MM : 0 ~ 59、SS : 0 ~ 59)
機種	機種 (GX/GP/GM、DX/FX、μR)
検索フォルダ	検索フォルダ [開く] ボタンをクリックすると検索フォルダが開きます。
出力フォルダ	出力フォルダ [開く] ボタンをクリックすると出力フォルダが開きます。

運転ログの表示内容

運転中の出力タスクのエラーログが表示されます。タスクの実行結果等は監査証跡で確認できます。

表示項目	内容
時刻	時刻 表示フォーマットは表示言語により異なります。 最新時刻から古い時刻の順に表示します (デフォルト)。 時刻のタイトルをクリックすると、表示順 が最新時刻の順 (↕)、古い時刻の順 (↗) に、交互に変わります。
タスク番号	タスク番号
タスク名	タスク番号のタスク名
詳細内容	実行ログ

詳細内容

表示ログ	内容
印刷エラーが発生しました	印刷の実行に失敗しました。 プリンタの設定関連の問題、プリンタ設定で「Microsoft Print to PDF」が指定されている場合に表示されます。
出力エラーが発生しました (フォルダ名)	出力先フォルダに関するエラーが発生したため、実行に失敗しました。 出力フォルダへのアクセス権が拒否されたため、出力に失敗しました。
処理済みファイルの保管でエラーが発生しました ファイルの読込エラーが発生しました (ファイル名)	処理済みファイルの保管に失敗しました。 検索フォルダの中に置いてあるデータファイルに関するエラーが発生したため、実行に失敗しました。
検索フォルダが存在しません (フォルダ名)	検索フォルダが存在しません。
アクセス権がありません (フォルダ名)	フォルダへのアクセス権がありません。
出力フォルダの作成でエラーが発生しました (フォルダ名)	出力フォルダの作成に失敗しました。
処理済みファイル保管フォルダの作成でエラーが発生しました (フォルダ名)	処理済みファイル保管のフォルダの作成に失敗しました。
設定された範囲に対象がありません (ファイル名)	設定範囲に該当しないため、出力を中止しました。 (例) 設定した時間範囲に該当しない 設定したグループが1つもない
ファイルが不足した状態で出力されました (タスク番号)	出力した結果に対して、出力用のデータファイルが抜けました。
テンプレートファイルが存在しません (テンプレートファイル名)	カスタム帳票出力で、指定したテンプレートファイルが存在しません。
実行時にエラーが発生しました	上記の原因に当てはまらないエラーです。

操 作

出力タスクの実行

- 1 ナビゲータエリアの [運転] - [出力タスク] を選択します。
- 2 実行する出力タスクのチェックボックスにチェックを入れ、[実行] ボタンをクリックします。

選択したタスクが実行されます。

操作完了

出力タスクの終了

- 1 ナビゲータエリアの [運転] - [出力タスク] を選択します。
- 2 停止する出力タスクのチェックボックスだけにチェックを入れて、[停止] ボタンをクリックします。

「タスクの運転を停止してよろしいですか？」メッセージが表示されます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。
チェックしたタスクが停止します。

操作完了

5.1 出力タスクを実行する

運転ログの表示

- 1 フィルタで運転ログ表示する出力タスクを選択します。
選択した出力タスクの運転ログが表示されます。

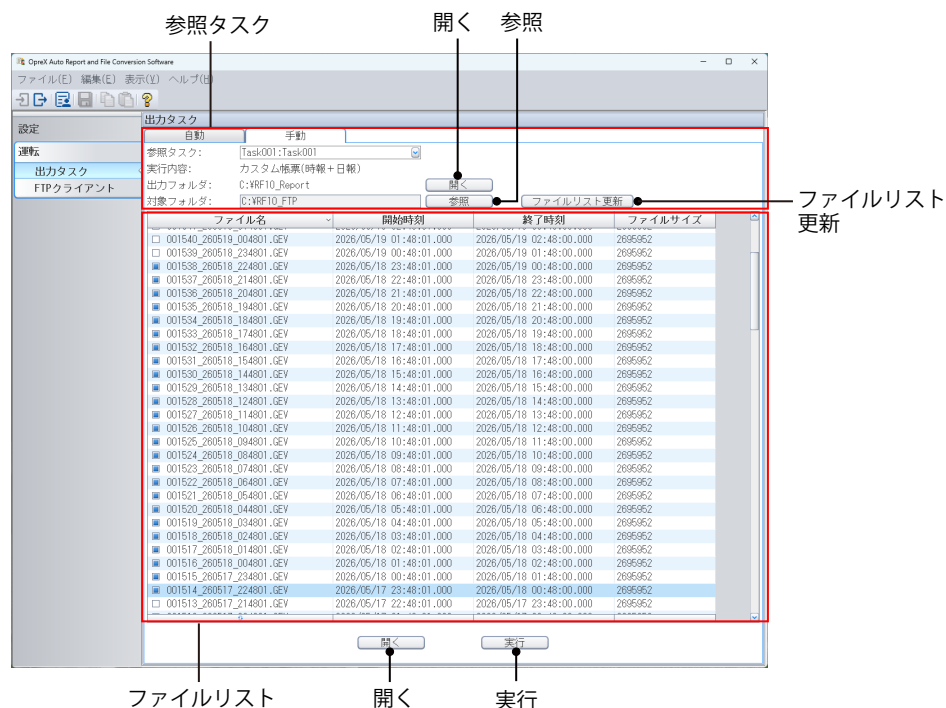
ログの表示数は最大 5000 です。5000 を超えた場合は、古いログから削除されます。

操作完了

5.1.2 手動運転で実行する

手動運転は、出力する対象フォルダ、対象ファイルを選択して実行します。

運転画面



ボタン

名称	説明
開く	出力先フォルダを開きます。
参照	対象フォルダを選択します。
ファイルリスト更新	ファイルリストを更新します。
開く	選択したデータファイルをユニバーサルビューアで開きます。
実行	手動運転を実行します。

参照タスクの内容

表示項目	内容
参照タスク	参照タスクの選択
実行内容	参照タスクの実行内容
出力フォルダ	出力フォルダ
対象フォルダ	対象フォルダ、最大文字数：255

ファイルリストの内容

表示項目	内容
ファイル名	ファイル名 ファイル名のタイトルをクリックすると、表示順が最新ファイルの順（📄）、古いファイルの順（📄）に、交互に変わります。
チェックボックス	ファイルの選択 / 未選択 実行するファイルにチェックをします。
開始時刻	データファイルの開始時刻
終了時刻	データファイルの終了時刻
ファイル名	データファイルサイズ

操 作

- 1
- [参照タスク] で実行するタスクを選択します。

[実行内容]、[出力フォルダ] に設定されている内容が表示されます。

出力フォルダの [開く] ボタンをクリックすると、出力先のフォルダが開きます。
- 2
- [対象フォルダ] に対象フォルダを入力（最大 255 文字を表示）するか、[参照] ボタンをクリックして選択します。

[ファイルリスト更新] をクリックすると、リストが最新に更新されます。
- 3
- 実行するファイルのチェックボックスにチェックをして、[実行] をクリックします。

タスク出力が実行されます。

操作完了

5.2 FTP クライアントを実行する

FTP クライアントの運転は、自動、PC 起動時のみ、手動の 3 種類があります。

5.2.1 自動運転で実行する

自動運転は、10 分周期でレコーダから対象ファイルを取得します。

運転画面



ボタン

名称	説明
実行	自動運転を実行します。
停止	自動運転を停止します。

アイコン（自動、PC 起動時のみで共通）

アイコン	操作結果
	一斉切り替え 行を選択してクリックすると、選択行が先頭行と同じチェック / 未チェックの状態になります。クリックすることにより選択範囲のチェック / 未チェックが切り替わります。
	スプリッタをクリックすると、運転ログ画面の表示 / 非表示が切り替わります。

FTP クライアントの表示内容

表示項目	内容
番号:名前	FTP クライアントの番号と名前
ステータス	FTP クライアントの実行状態 待機中: 実行待ち中 実行中: 対象ファイルの取得中
ホスト名 /IP アドレス	FTP サーバのホスト名 /IP アドレス
保存フォルダ	保存フォルダ

運転ログの表示内容

表示項目	内容
時刻	ログの時刻 時刻のタイトルをクリックすると、表示順が最新時刻の順（▼）、古い時刻の順（▲）に、交互に変わります。
番号	FTP クライアント番号
名前	FTP クライアント名
詳細内容	運転状態

詳細内容

表示ログ	内容
接続エラーが発生しました	FTP サーバへの接続に失敗しました。
タイムアウトが発生しました	FTP サーバへの接続がタイムアウトしました。
ログインエラーが発生しました	ユーザ名、および、パスワードが誤っています。
アクセスエラーが発生しました	ユーザのアクセス権限がありません。
保存フォルダが存在しません（フォルダ名）	保存フォルダが存在しません。
不明なエラーが発生しました	その他のエラーです。

操 作

自動運転の実行

- 1 ナビゲータエリアの [運転] - [FTP クライアント] を選択します。
- 2 [自動] タブを選択します。
- 3 実行する FTP クライアントのチェックボックスにチェックを入れ、[実行] をクリックします。
選択した FTP クライアントが実行されます。

操作完了

自動運転の終了

- 1 ナビゲータエリアの [運転] - [FTP クライアント] を選択します。
- 2 停止する FTP クライアントのチェックボックスだけにチェックを入れ、[停止] ボタンをクリックします。
[FTP クライアントを停止しますか？] のダイアログが表示されます。
- 3 [OK] をクリックします。
選択した FTP クライアントが停止します。

操作完了

5.2.2 PC 起動時のみで実行する

PC を起動したときに 1 回のみ実行して、その他の時間は待機中になります。

運転画面、PC 起動時のみの表示内容、運転ログの表示内容

自動運転と同じです。

▶ 5-6 ページの「5.2.1 自動運転で実行する」を参照して操作してください。

操 作

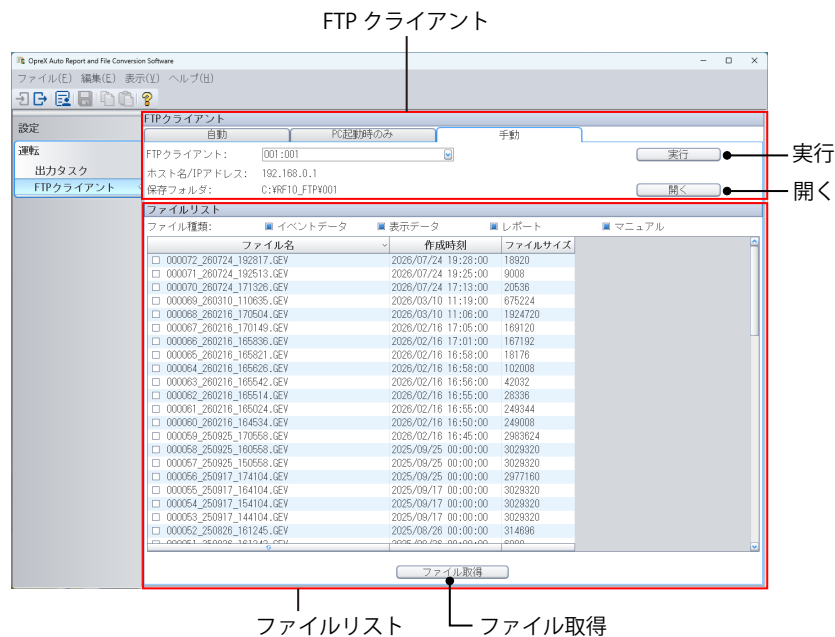
[PC 起動時のみ] タブの選択以外は自動運転と同じです。

▶ 5-6 ページの「5.2.1 自動運転で実行する」を参照して操作してください。

5.2.3 手動運転で実行する

手動運転は、1 つの FTP クライアントを実行し、接続しているレコーダからファイルを取得します。

運転画面



FTP クライアントの表示内容

表示項目	内容
FTP クライアント	FTP クライアントの番号と名前
ホスト名 /IP アドレス	接続対象のホスト名 /IP アドレス
保存フォルダ	保存フォルダ

ファイルリストの表示内容

表示項目	内容
ファイル種類	取得するファイルの種類の選択 種類：イベントデータ、表示データ、レポート、マニュアル
ファイル名	ファイル名 ファイル名のタイトルをクリックすると、表示順が最新ファイルの順（w）、古いファイルの順（^）に、交互に変わります。
チェックボックス	実行するファイルにチェックを入れます。
作成時刻	作成時刻
ファイルサイズ	対象ファイルのファイルサイズ

操 作

- 1 ナビゲータエリアの [運転] — [FTP クライアント] を選択します。
- 2 [手動] タブを選択します。
- 3 [FTP クライアント] から実行する FTP クライアントを選択して、[実行] ボタンをクリックします。
FTP クライアントが実行され、ファイルリストが表示されます。
- 4 ファイルリストの [ファイル種類] で、取得するファイル種類にチェックします。
- 5 取得するファイルのチェックボックスにチェックをして、[ファイル取得] ボタンをクリックします。
選択したファイルが取得されます。

操作完了

Blank

6.1 監査証跡を表示する

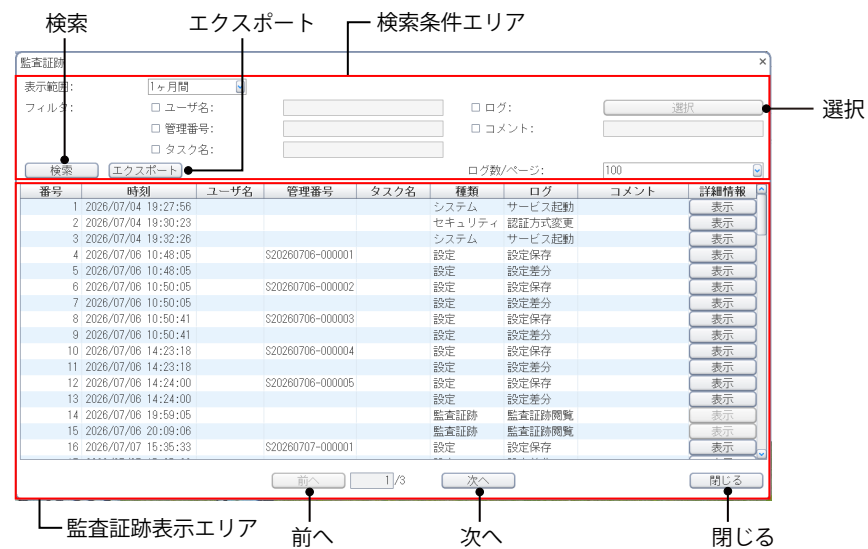
6.1.1 監査証跡画面を表示する

操 作

- 1 メニューの [表示] - [監査証跡] を選択します。
[監査証跡] ダイアログが表示されます。
- 2 [閉じる] ボタンをクリックすると、[監査証跡] ダイアログが閉じます。

操作完了

画面



ボタン

名称	説明
検索	表示範囲の監査証跡をフィルタ条件に従って検索を行い、表示します。
エクスポート	検索結果の監査証跡をエクスポートします。
選択 (ログ)	ログ項目の選択ダイアログを表示します。
前へ	前の 1 ページの監査証跡を表示します。
次へ	次の 1 ページの監査証跡を表示します。
閉じる	監査証跡ダイアログを閉じます。

検索条件エリア

監査証跡の検索条件が表示されます。

▶ 詳細は 6-2 ページの「6.2.1 監査証跡の検索条件を設定する」を参照してください。

監査証跡表示エリア

検索条件に基づいた監査証跡の内容が表示されます。

▶ 詳細は 6-3 ページの「6.2.2 監査証跡を確認する」を参照してください。

6.2 監査証跡を確認する

6.2.1 監査証跡の検索条件を設定する

監査証跡の表示条件を設定します。

内 容

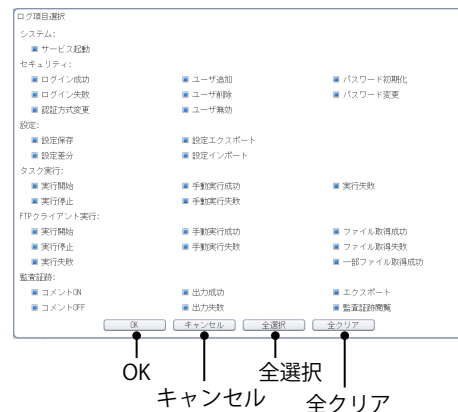
検索条件設定項目

設定項目	設定範囲または選択肢	検索条件	初期値
表示範囲	範囲	1 ヶ月間 / 3 ヶ月間 / 6 ヶ月間 / 1 年 / 指定範囲	1 ヶ月間
	日付	開始日 / 終了日（カレンダー入力） 指定可能な範囲は最大 1 年です。	開始日：当日 -1 年 終了日：当日
フィルタ	ユーザ名	ユーザ名、管理番号、タスク名、ログ、コメント	未チェック
	管理番号	最大 20 文字	未チェック
	タスク名	最大 30 文字	未チェック
	ログ	ログ項目（選択）	未チェック
	コメント	最大 30 文字	未チェック
ログ数 / ページ	20/50/100（ページあたりの表示ログ数）		20

ログ項目の選択

監査証跡の種類ごとに表示するログを選択できます。

▶ ログ項目の詳細内容は、6-3 ページの「6.2.2 監査証跡を確認する」の詳細情報を参照してください。



ボタン

名称	説明
OK	設定した内容を反映し、ダイアログを閉じます。
キャンセル	設定した内容を廃棄し、ダイアログを閉じます。
全選択	設定項目を全てチェックします。
全クリア	設定項目を全て未チェックにします。

6.2.2 監査証跡を確認する

検索条件に基づいて監査証跡を表示します。

操 作

監査証跡の表示

- 1 表示範囲、フィルタの設定後、[検索] ボタンをクリックします。
検索条件に基づいた監査証跡の内容が表示されます。

操作完了

詳細情報の表示

- 1 [詳細情報] の [表示] ボタンをクリックします。
[詳細情報] ダイアログが表示されます。



種類が「設定」、ログが「設定保存」の場合、[設定表示] ボタンをクリックすると、設定情報を表示、[エクスポート] をクリックすると設定を外部に保存できます。

種類が「設定」、ログが「設定差分」の場合、[差分表示] をクリックすると、差分の設定情報を表示します。

▶ 4-26 ページの「4.4.2 差分の設定情報を表示する」を参照してください。

- 2 [OK] をクリックすると、[詳細情報] ダイアログが閉じます。

操作完了

表示項目

表示項目	内容
番号	監査証跡の番号
時刻	時刻
ユーザ名	ユーザー名
管理番号	管理番号
タスク名	タスク名
種類	種類
ログ	操作内容
コメント	コメント入力の内容
詳細情報 (表示)	ログの詳細情報

6.2 監査証跡を確認する

詳細情報

種類	ログ（操作内容）	詳細情報
システム セキュリティ	サービス起動	コンピュータ名
	ログイン成功	—
	ログイン失敗	—
	ユーザ無効	—
	認証方式変更	認証方式
	ユーザ追加	ユーザー名
	ユーザ削除	—
	パスワード初期化	—
	パスワード変更	—
設定	設定保存	設定シリアル番号
	設定差分	現在の設定シリアル番号
		過去の設定シリアル番号
	設定エクスポート	設定シリアル番号
		出力ファイル名
		ファイルサイズ
		ハッシュ値
	設定インポート	設定シリアル番号
タスク実行	実行開始	—
		—
		—
	実行失敗	タスク名
		対象ファイルフルパス
	実行停止	タスク名
		対象ファイルフルパス
FTP クライアント実行	実行開始	クライアント番号
	実行失敗	—
	実行停止	—
	手動実行成功	—
	手動実行失敗	—
	ファイル取得成功	ファイル名
	ファイル取得失敗	—
	一部ファイル取得成功	—
	—	—
監査証跡	コメント ON	—
	コメント OFF	—
	出力成功	RF10 シリアル番号
		タスク名
		設定シリアル番号
		入力ファイル
		出力ファイル
		ファイルサイズ
	出力失敗	ハッシュ値
		RF10 シリアル番号
		タスク名
		設定シリアル番号
		入力ファイル
		ファイルサイズ
	エクスポート	ハッシュ値
		ファイル名
	—	ファイルサイズ
		ハッシュ値
	監査証跡閲覧	—

6.2.3 監査証跡の検索結果をエクスポートする

検索結果をエクスポートします。
ファイル形式は CSV です。

操 作

- 1 [エクスポート] ボタンをクリックします。
[名前をつけて保存] ダイアログが開きます。
- 2 保存先の選択、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。
検索した監査証跡が保存されます。

操作完了

6.3 コメントを入力をする

以下の操作を行ったとき、[コメント]ダイアログが表示され、コメントを入力できます。

コメント入力ダイアログ表示の操作項目

- ・ 認証方式変更
- ・ ユーザー追加
- ・ ユーザー削除
- ・ パスワード初期化
- ・ パスワード変更
- ・ 設定保存
- ・ 設定エクスポート
- ・ 設定インポート
- ・ 実行開始
- ・ 実行停止
- ・ 手動実行
- ・ 監査証跡エクスポート

操 作

- 1 [コメント]ダイアログが表示されたらコメントを入力して [OK] をクリックします。
コメント入力は最大 100 文字です。



操作完了

7.1 データベースを移行する

RF10 の環境を他の PC に移行する際の、データベース（設定や監査証跡など）の移行について説明しています。
データベースファイルをパスワードにより保護することで、安全に PC 間の移行ができます。

操 作

移行前の PC での作業

- 1 メニューの [ファイル] - [データベースの移行] を選択します。
[データベース移行] ダイアログが表示されます。
- 2 [パスワード]、[パスワードの確認]、[保存先] を設定して [OK] をクリックします。
指定した保存先にデータベースが保存されます。

項目	設定範囲または選択肢
パスワード	半角英数字、記号 8 文字以上、30 文字以下
パスワードの確認	英大文字、小文字、数字、記号のうち、3 つの種類を含む
保存先	最大 255 文字

Note

データベース移行の保存先は、USB メディアなどの外部メディア、または各ドライブの直下以外のフォルダを指定してください。C フォルダ直下や、個人アカウント管理のフォルダを指定するとエラーが発生します。

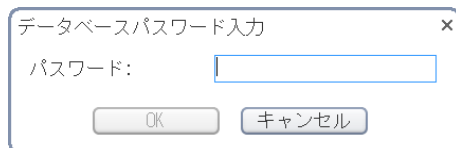
- 3 移行したいデータベースファイル（RFDatabase.pwd、RFServer.db）をコピーして、移行先の PC に持っていきます。

移行後の PC での作業

- 4 RF10 をインストールします。
- 5 タスクマネージャーを起動します。
- 6 タスクマネージャーの「サービス」表示一覧から「RFService」を右クリックして、「停止」をクリックします。
状態が停止になっていることを確認してください。
- 7 インストール時に指定したデータベースの保存先にデータベースファイル（RFDatabase.pwd、RFServer.db）を保存します。
- 8 タスクマネージャーの「サービス」表示一覧で、「RFService」を右クリックして、「開始」を選択します。
状態が実行中になっていることを確認してください。

7.1 データベースを移行する

- 9 RF10 を起動します。
[データベースパスワード入力] ダイアログが表示されます。
- 10 データベース移行時のパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
RF10 が起動します。



操作完了

8.1 エラーとメッセージ一覧

メッセージ

コード	メッセージ	説明 / 対処方法
M1001	ソフトの試用期間が終了したため、使用できません。	ソフトの試用期間が過ぎています。 ライセンスを購入し、登録してください。
M1002	ソフトを正式化しました。 PC を再起動してください。	ソフトが正式化されました。 PC を再起動してください。
M1003	ライセンスをアップグレードしました。PC を再起動してください。	PC を再起動してください。
M1010	出力タスクの実行を停止しますか？	-----
M1011	FTP クライアントの実行を停止しますか？	-----
M1012	設定の変更を保存しますか？	-----
M1013	終了しますか？	-----
M1014	ユーザを削除しますか？	-----
M1021	FTP 接続に成功しました。	-----
M1022	タスク出力に成功しました。	-----
M1023	ファイル取得に成功しました。	-----

警告メッセージ

コード	メッセージ	説明 / 対処方法
W2001	インポートしようとしている設定の構成が /LE オプションのものとは互換性がありません。インポートすると /LE オプション構成に合わせて変換されます。インポートしますか？	全設定の内容を /LE オプションにインポートしようとした。
W2002	現在の設定は破棄されますがよろしいですか？	設定ファイルをインポートする時の通知です。
W2011	(TaskNo：TaskName) の検索フォルダは (TaskNo：TaskName) の処理済みファイルの保管フォルダの設定が重複しています。重複しないように指定してください。	検索フォルダが処理済みファイルの保管フォルダと同じです。
W2012	(TaskNo：TaskName) の処理済みファイルの保管フォルダは (TaskNo：TaskName) の検索フォルダの設定が重複しています。重複しないように指定してください。	処理済みファイルの保管フォルダが検索フォルダと同じです。
W2013	対象範囲がないため、出力しません。	対象範囲のデータが 1 点もありません。 対象範囲を正しく指定してください。
W2021	フォルダに同じファイル名が存在します。上書きしますか？	OK：ファイルを上書きします。 キャンセル：ファイルを上書きしません。

エラーメッセージ

コード	メッセージ	説明 / 対処方法
E3001	パスワードが正しくありません。	誤ったパスワードが入力されました。 正しいパスワードを入力してください。
E3002	パスワードポリシーに違反しています。パスワードポリシーに沿った異なるパスワードを入力してください。	下記に記述のパスワードポリシーに従い、異なるパスワードを入力してください。 ▶ 2.3 認証を設定する 設定範囲
E3003	変更後のパスワードと確認用のパスワードが一致していません。	変更後のパスワードと確認用のパスワードが、一致するように再度入力してください。
E3004	パスワードポリシーに違反しています。パスワードポリシーに沿った異なるパスワードを入力してください。	下記に記述のパスワードポリシーに従い、異なるパスワードを入力してください。 ▶ 7.1 データベースを移行する
E3005	パスワードと確認用のパスワードが一致していません。	パスワードと確認用のパスワードが異なっています。 パスワードと確認用のパスワードを一致させてください。
E3006	ログインに失敗しました。パスワードを確認してください。	正しいパスワードを入力してください。
E3007	ログインに失敗しました。ユーザ名、ユーザ ID、またはパスワードを確認してください。	正しいユーザ名、ユーザ ID、および、パスワードを入力してください。

次ページにつづく

8.1 エラーとメッセージ一覧

コード	メッセージ	説明 / 対処方法
E3008	パスワードを更新できませんでした。新しいパスワードは現在のパスワードと同一であるため、設定できません。	現在のパスワードと異なる値を入力してください。
E3009	ユーザは無効になりました。	管理者に連絡して、パスワードを初期化してください。
E3010	このユーザは無効です。ユーザはロックされていますので、管理者に連絡してください。	管理者に連絡して、パスワードを初期化してください。
E3011	ライセンス番号が正しくないので、登録できませんでした。	ライセンス番号を確認のうえ、正しく入力してください。
E3012	ソフトは「管理者として実行」を選択して起動してください。	管理者以外としてライセンス番号を登録しようとしてしました。RF10 を起動するときに「管理者として実行」を選択してください。
E3015	指定されたユーザは既に存在するため、登録できません。	存在しないユーザ名を設定してください。
E3021	取扱説明書が所定の位置にありません。	所定の位置に取扱説明書がありません。 クライアントのインストールフォルダに取扱説明書の PDF ファイルを置いてください。
E3022	Adobe Reader の起動に失敗しました。	Adobe Reader がインストールされていません。 Adobe Reader がインストールされているかどうか、また、Adobe Reader が本製品の対応バージョンかどうか確認してください。
E3023	Universal Viewer の起動に失敗しました。	UniversalViewer がインストールされているかどうか確認してください。
E3031	データベースのアクセスに失敗しました。	-----
E3041	指定フォルダが存在しません。	指定フォルダが開けません。 実在するフォルダを指定してください。
E3042	フォルダへアクセスできません。	指定フォルダのアクセス権限を確認してください。
E3101	ファイルの読み込み時にエラーが発生しました。	設定のインポート時にファイルの読み込みに失敗しました。 インポートの対象となっているファイルが間違っていないか確認してください。
E3102	ファイルの書き込み時にエラーが発生しました。	エクスポート先のフォルダに書き込む権限がない、または、ディスクの空き容量が足りないため、設定のエクスポート時にファイルの書き込みに失敗しました。 エクスポート先のフォルダのプロパティが読み込み専用になっていないか、また、ディスクの空き容量が足りているかどうかを確認してください。
E3105	ファイルは既に存在します。保存できません。	保存先の変更、および、存在したファイルの改名を行ってください。
E3111	サーバへの接続に失敗しました。再度接続しますか？	サーバを正しく起動したかどうかを確認してください。
E3112	FTP サーバへの接続に失敗しました。	正しいサーバ、ポート番号を確認してください。
E3121	タスク出力に失敗しました。	タスクの手動運転に失敗しました。
E3122	一部のファイルの実行に失敗しました。	あるファイルの手動運転を失敗しました。
E3123	ファイル取得に失敗しました。	-----
E3124	一部ファイル取得に失敗しました。	FTP クライアントの手動実行に失敗した通知です。